

令和5年度(2023年度)用

中学校国語科書写用

「新しい書写」 年間指導計画作成資料 【1年】

※単元ごとの配當時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい書写」(第1学年)年間指導計画作成資料

単元名の欄中「(3)エ(ア)」などは学習指導要領の内容を示す。

月	単元名	単元の目標	時数	学習活動	観点別評価規準
	書写で学ぶこと p.2-3	書写学習の目的を理解することができる。	適宜	① 3年間の学習の流れと目的を見通す。	
	書写の学習の進め方 p.4	学習の進め方の要点を理解することができる。	適宜	① 書写の学習の進め方を理解する。	
1 小学校の学習を振り返ろう					
4	姿勢と筆記具の持ち方 p.6-7 (3) エ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆	小学校での学習を振り返り、自分の書き方を見直すことができる。	1	① 文字を整えて書くための姿勢、筆記具の名称・使用方法・持ち方を確認する。 ② 字形と配列を整える書き方について確認する。 ③ 基本の点画の書き方を確認する。 ④ 確認した既習事項をもとに、自分の書き方を見直す。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○小学校での学習を振り返り自分の書き方を見直している。
	字形と配列を整える書き方 p.8-9 (3) エ(ア) 【用具】鉛筆				
	基本の点画の書き方 p.10-12 (3) エ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆				
	自分の書き方を見直そう p.13 (3) エ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆				
2 楷書の書き方を確かめよう					
4 5	点画の書き方と字形の整え方〈大志〉 p.14-15 (3) エ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆	点画の書き方と字形の整え方を理解して書くことができる。	2	① 文字の直し方を「書写のかぎ」を使って説明する。 ② 毛筆や硬筆で書いて、点画の書き方と字形を確かめる。 ③ 平仮名を漢字に直し、「書写のかぎ」を生かして楷書で書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○点画の書き方と字形の整え方を理解して書いている。

5 5 6	<p>仮名の書き方と字形 〈五十音表〉 p.16-18 (3) エ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>仮名の書き方や字形の特徴を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 平仮名を書くときに気をつけることを考える。 ② 平仮名を書くときに気をつけることを「書写のかぎ」で確認する。 ③ 教科書の文字をなぞったり書いたりして、平仮名の特徴を確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○仮名の書き方や字形の特徴を理解して書いている。</p>
	<p>[文字のいずみ] いろは歌 p.19</p>	<p>「いろは歌」について知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① いろは歌とその解説を読む。</p>	
6 5 7	<p>文字の大きさと配列 〈夏山の緑うつりし小窓かな〉 p.20-21 (3) エ (ア) 【用具】小筆（筆ペン）・鉛筆</p>	<p>文字の大きさと配列を整えて書くためにはどうすればよいか理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 教科書の文の配列を整える方法を示された用語を使って説明する。 ② 文字の大きさと配列の整え方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 小筆や筆ペン、または硬筆で書いて、文字の大きさや配列を確かめる。 ④ ①の文を「書写のかぎ」を生かして書き直す。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○文字の大きさや配列の整え方を理解して書いている。</p>
9	<p>情報を整理した書き方 p.22-23 (3) エ (ア) 【用具】鉛筆</p>	<p>情報を整理して分かりやすく書くにはどうすればよいか理解して書くことができる。</p>	1	<p>① 二つのノートを見比べて、情報を整理するための工夫について考える。 ② 情報を整理した書き方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 会議録をまとめるために、情報を整理してノートに書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○情報を整理するための工夫を理解して書いている。</p>

	<p>楷書のまとめ p.24-25</p> <p>(3) エ (ア)</p> <p>【用具】鉛筆</p>	<p>楷書の書き方を理解して書くことができる。</p>	<p>適宜</p>	<p>① 字形の整え方を確かめて書く。</p> <p>② 筆順の決まりを確かめて書く。</p> <p>③ 「書写テスト」に挑戦する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○楷書の書き方を理解して書いている。</p>
9	<p>[生活に広げよう]</p> <p>案内の手紙を書こう p.26-27</p> <p>(3) エ (ア)</p> <p>【用具】鉛筆・ペン</p>	<p>案内に必要な情報を分かりやすく書くことができる。</p>	1	<p>① 手紙の形式を確かめる。</p> <p>② 案内に必要な情報を考える。</p> <p>③ 学習したことを生かして案内の手紙を書く。</p> <p>④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>○案内の手紙を書くときに既習事項をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○既習事項を生かして、進んで、分かりやすい案内の手紙を書こうとしている。</p>
	<p>[文字のいずみ]</p> <p>文字の成り立ちと移り変わり p.28-29</p>	<p>文字の成り立ちと移り変わりについて知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 篆書・隸書・草書・行書・楷書・平仮名・片仮名の成り立ちについて解説を読む。</p>	
3 行書の書き方を学ぼう					
10	<p>行書を書くときの動き p.30-33</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>行書を書くときの特徴的な動きを理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 文字をなぞり、行書を書くときの動きを楷書のとくと比べて考える。</p> <p>② 行書を書くときの動きを「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 行書を書くときの四つの動きを確かめる。</p> <p>④ 文字の四つの動きをなぞり、「書写のかぎ」を生かして文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書を書くときの特徴的な動きを理解して書いている。</p>

10 5 11	<p>点画の連続〈日光〉 p.34-35</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 行書の点画の連続の仕方と連続する理由について、書く動きを楷書と比べて考える。</p> <p>② 点画の連続の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 毛筆や硬筆で書いて、点画の連続を確かめる。</p> <p>④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書の点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書いている。</p>
11	<p>点画の変化〈大空〉 p.36-37</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 行書の点画の変化の仕方と変化する理由について、書く動きを楷書と比べて考える。</p> <p>② 点画の変化の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 毛筆や硬筆で書いて、点画の変化を確かめる。</p> <p>④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書の点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。</p>
	<p>行書のまとめ① p.38-39</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】鉛筆</p>	<p>行書の点画の連続と点画の変化を理解して書くことができる。</p>	適宜	<p>① 行書の四つの動きを確かめながら書く。</p> <p>② 行書の点画の連続を理解して、確かめながら書く。</p> <p>③ 行書の点画の変化を理解して、確かめながら書く。</p> <p>④ 「書写テスト」に挑戦する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書の点画の連続と点画の変化を理解して書いている。</p>
	<p>[文字のいずみ] 伝統的な用具・用材 p.40-41</p>	<p>伝統的な用具・用材について知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 筆・墨・硯・紙の生産地や作り方についての解説を読む。</p>	

12	<p>[生活に広げよう] 年賀状を書こう p.42-43 (3) エ (イ) 【用具】 ペン・小筆 (筆ペン)</p>	<p>行書の動きや形の特徴を考えて年賀状を書くことができる。</p>	1	<p>① 年賀状を書くときに、気をつけることは何か考える。 ② 行書で年賀状を書く。 ③ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○年賀状を書くときに、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既習事項を生かして、進んで、行書で年賀状を書こうとしている。</p>
12	<p>[文字のいずみ] 書き初めをしよう 〈夢の実現〉〈温故知新〉 〈美しい緑〉〈早春〉 p.44,97-100 (3) エ (ア)・(イ) 【用具】 毛筆</p>	<p>書きたい言葉と書体を考え、これまでに学習してきた「書写のかぎ」を生かして、書き初めを書くことができる。</p>	1	<p>① 書きたい言葉と書体を考える。 ② これまでに学習した「書写のかぎ」をどのように生かすか考える。 ③ 書き初めを書く。</p>	<p>【知識・技能】 ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。</p>
1 5 3	<p>[生活に広げよう] 職場訪問をしよう p.45-47 (3) エ (ア)・(イ) 【用具】 ペン</p>	<p>書写で身につけた力を生活のさまざまな場面で生かすことができる。</p>	3	<p>① 「職場訪問」という場面設定で、書写で学習したことをどのように生かすか話し合う。 ② それぞれの場面で活用する既習事項や書式の書き方を、実例を見て確認する。 ③ 実際の場面を想定して、場面に合わせた書式で書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○場面や目的に応じて既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既習事項を生かして、進んで、目的や場面に合った文字を書こうとしている。</p>
	<p>[文字のいずみ] 書いて味わおう 「竹取物語」 p.48 (3) エ (ア)・(イ) 【用具】 鉛筆</p>	<p>古典を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 「竹取物語」の文章を書く。</p>	
書写活用ブック					
	<p>さまざまな書式 (手紙, 新聞, リーフレット, ポスター, フリップ, レポート, 原稿用紙 ほか) p.(2)-(9)</p>	<p>さまざまな場面にふさわしい書き方や、情報のまとめ方を理解することができる。</p>	適宜	<p>① 手紙, 新聞, リーフレット, ポスター, フリップ, レポート, 原稿用紙, 入学願書, 複写式の用紙, 往復はがき, のし袋, 簡潔な手紙, 電子メールの書き方についての解説を読む。</p>	
	<p>行書の部分の形 p.(10)-(11)</p>	<p>行書の部分の形の違いを理解することができる。</p>	適宜	<p>① 上段の文字にならない、形の違いを意識しながら空欄に行書で書く。</p>	

	常用漢字表, 人名用漢字表 p.(12)-(32)	常用漢字, 人名用漢字の手書きの書き方を理解することができる。	適宜	① 常用漢字 2136 字・人名用漢字 863 字の楷書体と行書体を一覧する。	
--	---------------------------	---------------------------------	----	---	--

令和5年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

■1年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	朝のリラ 【読む(詩)】 2時間 ●詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。(Cエ) ●詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。 ・本文中の地名の位置を確認し、地球を思い浮かべながら音読する。 ・朝と夜を表す表現に着目し、表現の巧みさについて考える。	知・技 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ)	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。 ・「朝をリラする」とはということか、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを共有する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして</u> いる。(Cオ)		
		竜 【読む(物語)】 4時間 ●描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。(Cイ) ●擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、場面ごとの内容を捉える。 ・本文を通読し、場面の区切りを確認する。 ・場面ごとのできごとをまとめ、タイトルをつける。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
2	2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 ・「気の弱い微笑」と「気の弱そうな苦笑い」を比較する。 ・二つの表現に表れた三太郎の変化を捉える。	思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)				
			3	3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 ・擬声語・擬態語を探し、表現の効果について考える。	主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
			4	4 物語における表現の効果について考えを深める。 ・おもしろいと思ったできごとや表現を探す。 ・おもしろさの理由を考えて、紹介し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
5		グループディスカッション 話題や展開にそって 話し合いをつなげる 【話す・聞く】 4時間 ●話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</u>	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ)
		言葉発見① 音声のしくみとはたらき 1時間 ●音声のはたらきやしぐみについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日本語の音節や五十音図のしくみなどを理解し、音声のしくみとはたらきについて考える。 2 「五十音図とローマ字」を見て、母音と子音のしくみを確認する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 4 日本語と英語の音節の違いについて理解を深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。(1)ア)</u> 主 ・進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう① 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着 【読む(説明)】 1時間 ●説明文の基本構造を理解する。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 説明文の基本構造を理解する。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「本論」に書かれたペンギンの保温のしくみを読み取る。 ・「序論」「本論」「結論」の役割を捉える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	-
		クジラの飲み水 【読む(説明)】 4時間 ●段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。(Cア) ●読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。(Cエ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 → 読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ・筆者が立てた「問い」に対する「仮説」を見つめる。 ・筆者が立てた「問い」に対する「答え」について、二〇〇字程度の文章にまとめる。 3 2 表現の工夫を探して、その効果を捉える。 ・筆者が読み手にわかりやすく伝えるためにしている工夫を探す。 ・探した表現の工夫について、その効果を考える。 4 3 二つの文章を読み比べて、考えたことを発表する。 ・「クジラの飲み水」と「ペンギンの防寒着」を読み比べる。 ・読み比べて考えたことを発表し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」 において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ②「読むこと」 において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u> 主 ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)
		漢字のしくみ 1 活字と手書き文字・画数・筆順 1時間 ●活字と手書き文字・画数・筆順について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の字体、書体の違いを理解する。 2 漢字の画数・筆順について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。(1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		レポート 調べたことを整理して わかりやすくまとめる 【書く】 5時間 ●調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。(Bア) ●レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。(Bイ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 身のまわりのものやできごとから課題を決める。 ・身近なものや身のまわりのできごとから「問い」を立てる。 ・「問い」を手がかりにして、レポートの課題を決める。 ・予想を立てる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 ①「書くこと」において、 <u>集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</u> (Bア) ②「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ) 主 ・粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
		言葉発見② 話し言葉と書き言葉 1時間 ●話し言葉と書き言葉の違いについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し言葉と書き言葉の特徴について考える。 2 イントネーション・プロミネンスについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①音声のはたらきやしきみについて、 <u>理解を深めている。</u> ((1)ア) ②学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。((1)イ) ③事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) 主 ・進んで音声のはたらきやしきみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう② 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例	
7	3 ものの見方・感性を養う	空中ブランコ乗りのキキ 【読む(物語)】 読み方を学ぼう② 人物相関図 4時間 ●描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。(Cイ) ●登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・物語の登場人物を整理する。 → 読み方を学ぼう② 人物相関図 → 読書の広場「紅鯉」 ■二次元コード■	知・技 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして</u> いる。(Cオ) 主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)	
		2	2 描写をもとに、場面の展開や心情の変化を捉える。 ・キキの気持ちを場面ごとに捉える。 ・なぜ四回宙返りに挑んだのか考える。	3	3 本文中の描写が表すものの意味について考える。 ・「白い大きな鳥」が表しているものを考える。 ・理由をあげながら、考えたこと、想像したことを話し合う。	4	4 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。 ・キキの行動や考えについて自分の考えを文章にまとめる。 ・文章をもとに話し合い、考えを共有する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。
		1-3	文法の窓 1 文法のまとめ 言葉の単位・文節の関係 3時間 ●言葉の単位・文節の関係について理解する。(知・技(1)エ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 1」で言葉の単位・文節の関係について考える。 2 「文法のまとめ」1「言葉の単位」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」2「文節の関係・連文節文の成分」で、文の基本的なしくみについて理解する。 4 「確認しよう 1」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>単語の類別について理解している。</u> ((1)エ) 主 ・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-	
1	字のない葉書 【読む(随筆)】 読み方を学ぼう③ 行動描写 3時間 ●場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。(Cウ) ●行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。(Cイ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・手紙・葉書にまつわる思い出について、それぞれの内容をまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) 主 ・進んで心情の変化などについて描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	随筆を読み、考えたことなどを記録する。(Cイ)			
2	2 行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 ・後半部分について、父の行動の描写を捉える。 ・父の行動から、心情の変化を読み取る。 → 読み方を学ぼう③ 行動描写 → 読書の広場「電車は走る」 ■二次元コード■	3	3 「私」の父に対する思いについて考える。 ・今の「私」の父に対する思いについて、昔と比べながら考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。				

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 2 部首と成り立ち 1 時間 ●漢字の部首と成り立ちについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の部首と意味の関係について理解する。 2 漢字の成り立ちについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。(1)イ ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		随筆 体験に向き合い 意味づける 【書く】 4 時間 ●日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことの中心を明確にしてまとめる。(Bア) ●交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。(Bオ)	1 2-3 4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の体験の中から題材を決める。 ・これまで書いた文章や日記を読み返すなどして、体験を振り返る。 ・書く題材を決め、体験をとおして生じた思いや考えを書き出す。 2 表現したいことの中心を明確にしてまとめる。 ・表現したいことを明確にして、全体の構成を考える。 ・体験したことを詳しく具体的に書く。 ・印象に残るように工夫して自分の思いを書く。 3 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。 ・書いた随筆を読み合う。 ・構成や描写の工夫などについて、感想や意見を交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) 主 ・粘り強く日常生活の中から題材を決め、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	随筆を書くなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)
		私の読書体験 本を読むことのおもしろさ 2 時間 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、読書をとおして自分の考えを確かなものにする。(知・技(3)オ, Cオ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・学校図書館などで、本を選んで読む。 →読書の広場「小さな図書館」 ・互いに本を紹介したり感想を伝え合ったりする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。(Cオ) 主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(Cウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう③ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) ② 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
9	4 論理的に考える	玄関扉 【読む(説明)】 読み方を学ぼう④ 三角ロジック 4 時間 ●文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。(Cア, Cオ) ●論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「外開き」が「日本人の生活様式に適した、現実的な解決」と筆者が述べる理由をまとめる。 2 2 「内開き」についての筆者の考えを整理する。 ・本文から、「内開き」についての記述を書き出し、「主張」「事実」「理由づけ」に整理する。 ・「内開き」がヨーロッパ的な考えを反映していると筆者が述べる理由をまとめる。 → 読み方を学ぼう④ 三角ロジック → 読書の広場「この小さな地球の上で」 ■二次元コード■ 3 3 論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。 ・「外開き」に対する筆者の考えについて、それを支える事実と理由づけを捉える。 ・「引き戸」についての論述が果たしている役割について考える。 4 4 筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ・筆者の考えに納得できるかできないか、自分の考えをまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ① 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ② 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 ① 「読むこと」において、 <u>文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</u> ② 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ③ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		言葉発見③ 接続する語句・指示する語句 1 時間 ●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。(知・技(1)エ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ① 事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) ② 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) 主 ・進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		スピーチ 構成を工夫して 魅力を伝える 【話す・聞く】 5時間 ●日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。(Aア, Aイ) ●聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。(Aウ)	1 2-3 4-5	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から話題を探す。 ・スピーチの内容を考える。 2 自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・スピーチの構成を考える。 ・スピーチの練習をする。 3 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 ・グループでスピーチを行う。 ・相互評価する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決めている。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。</u> (Aイ) ③「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) 主 ・積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
		漢字を身につけよう④ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
10	5 古典に学ぶ	月を思う心 【読む(解説)】 1時間 ●古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。(知・技(3)イ, Cア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 月と人々との関わりについて考える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・月と昔の人々の生活について想像し、人々の月への思いについて考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) 思・判・表 ・「読むこと」において、 <u>文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</u> (Cア) 主 ・進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		竹取物語 【読む(古文)】 古文の読み方 古典の仮名遣い 4時間 ●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。(知・技(3)ア) ●登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。(Cイ、Cウ、Cオ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。 ・歴史的仮名遣いや古典の言葉に注意して音読する。 ・登場人物の相互関係を整理し、物語のあら筋を捉える。 2 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。 ・主な登場人物の言動から性格を想像し、感じたことを書く。 ・最も悲しんだのは誰か、理由とあわせて考える。 3 古典の世界を感じ取り、現代と比べて考えを広げる。 ・約千年たっても変わらないところと、変わったところを考える。 ・考えたことを話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈している。(Cウ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などの文章を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		表現プラザ 変わり身の上話 【書く】 2時間 ●目的や意図に応じて、身のまわりから題材を取り上げて書く。(Bア) ●交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。(Bオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 目的や意図に応じて、身のまわりから題材を決め、内容を考える。 ・例を参考にして、何になり変わるかを決める。 ・なり変わるものとの「会話文」を考える。 ・なり変わったものの立場から想像を広げて、その特徴が表れる内容や形式を考える。 2 交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。 ・「会話文」をもとに、変わり身の上話をまとめる。 ・グループで作品を読み合い、交流する。 ・それぞれの作品からよい点を見つけ、自分の表現に生かす。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 思・判・表 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、 <u>根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</u> (Bオ) 主 ・粘り強く文章のよい点や改善点を見いだし、学習の見通しをもって短い話を書こうとしている。	詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		故事成語——矛盾 【読む(漢文)】 漢文の読み方 訓読の仕方 3時間 ●訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。(知・技(3)ア) ●話の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cエ, Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 ・漢文調のリズムに注意して「矛盾」を音読し、話の流れを捉える。 ・訓読の仕方について理解する。	知・技 ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	小説や随筆などを読み、考えたことを記録する。(Cイ)
			2	2 「矛盾」の話の展開を捉え、他の故事成語について調べる。 ・「矛盾」の意味の由来について、四つの絵を用いて説明する。 ・他の故事成語について調べ、それを使って短い文章を作る。	思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u> ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ)	
			3	3 故事成語の優れた点やおもしろさ、表現の効果について考える。 ・故事成語の優れた点やおもしろさなどについて、自分の考えを書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 <学びを広げる> ・故事成語の一つを選び、その物語を四コマ漫画で表す。 →■二次元コード■	主 ・進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	
		漢字のしくみ 3 漢字の音と訓 1時間 ●漢字の音と訓について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の音読みと訓読みについて理解する。 2 同音異字と同訓異字について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)	-
		漢字を身につけよう⑤ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)	-
					主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報を関係づける	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 【情報】 防災に関するデータ 【読む(図表)】 「みんなでいるから大丈夫」の怖さ 【読む(記録)】 話す・聞く…2時間 読む…3時間 ●意見と根拠などの関係に注意し、互いの発言を結びつけながら話し合い、考えをまとめる。(知・技(2)イ, Aオ) ●原因と結果、意見と根拠などの関係に注意しながら、文章などを読んで理解したことをもとに自分の考えをもつ。(知・技(2)ア, Cア, Cウ, Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 資料A「防災に関するデータ」のグラフを読み取る。 ・グラフの一つ一つの項目からわかることを見つける。 2 グラフから読み取ったことをもとに、課題について話し合う。 ・わかったことをもとに防災意識を高めるための課題を考える。 ・いくつかの項目を関連づけて、課題について話し合う。	知・技 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</u> ②「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ③「読むこと」において、 <u>目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ)</u> ④「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主 ・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ) 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(Cウ)
			2	1 資料B「『みんなでいるから大丈夫』の怖さ」を読む。 ・本文を通読し、内容を捉える。 2 筆者の意見を捉える。 ・筆者の行った実験の内容をまとめる。 ・実験の結果から導き出される筆者の意見を捉える。		
			3-4	1 資料Aと資料Bを関連づける。 ・グラフから読み取ったことと文章から読み取ったことに共通する項目、関連する項目を見つける。 ・必要に応じて、学校図書館やインターネットを活用し、関連する多様な情報を収集する。 2 課題について、自分の考えをまとめる。 ・読み取ったことや調べたことをもとに、根拠となるデータや文章の一部を引用して、自分の考えをまとめる。		
			5	1 グループで話し合っ、考えを深める。 ・それぞれの考えを交流する。 ・互いの考えの共通点や相違点に着目しながら話し合い、課題についての考えを深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		行事案内リーフレット 必要な情報を わかりやすく伝える 【書く】 4時間 ●集めた材料を、書く目的や意図に応じて整理し、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方を整える。(Bエ)	1 2-3 4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 リーフレットに掲載する内容を決める。 ・案内する行事を決め、掲載する項目の候補を書き出す。 ・届ける相手を決める。 ・行事についての情報を集め、掲載内容を考える。 2 構成を考える。 ・各記事の場所や分量、イラストや写真の配置などを考える。 ・完成イメージを簡単な図にする。 3 推敲する。 ・グループで下書きを読み合い、修正して清書する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) 思・判・表 ①「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) ②「書くこと」において、 <u>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</u> 主 ・粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもって行事案内リーフレットを書こうとしている。	行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(Bイ)
		文法の窓 2 文法のまとめ 単語の類別・品詞 3時間 ●単語の類別・品詞について理解する。(知・技(1)エ)	1-3	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 2」で単語の類別や品詞について考える。 2 「文法のまとめ」「3 単語の類別・品詞」で、単語の類別や品詞について理解する。 3 「文法のまとめ」「4 名詞」「5 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解する。 4 「確認しよう 2」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>単語の類別について理解している。((1)エ)</u> 主 ・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう⑥ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
12	7 読みを深め合う	<p>それだけでいい 【読む(詩)】</p> <p>読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法 2時間</p> <p>●詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。(Cウ) ●表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。(Cエ)</p>	1	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 ・繰り返される表現を意識して、音読する。 ・山、海、星について、「……だけでいい」といっている理由を考える。</p> <p>2 2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。 ・第三連までと、第四連との共通点・相違点について話し合う。 → 読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法 → 読書の広場「古事記」 ■二次元コード■ ・第五連が一行のみで表現されていることの効果について、交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2イ)</p> <p>思・判・表 ①「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) ②「読むこと」において、<u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u></p> <p>主 ・進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		<p>言葉発見④ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め 1時間</p> <p>●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。(知・技(1)オ)</p>	1	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 比喩(直喩・隠喩・擬人法)について理解する。 2 倒置・反復・対句・体言止めについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技 ①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ)</p> <p>②<u>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</u></p> <p>主 ・進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		詩 思いや発見を リズムに乗せる 【書く】 4時間 ●日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理して、伝えたいことをしぼり込む。(Bア) ●自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫し、作品全体を整える。(Bエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から題材を決め、集めた題材を整理して、伝えたいことをしぼり込む。 ・日常生活の中から、詩の題材を選ぶ。 ・題材の中心を明確にして、伝えたいことをしぼり込む。 2 2 自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫する。 ・伝えたい思いが伝わる表現になるよう工夫して書く。 ・詩の表現技法を効果的に活用する。 3 3 推敲して作品全体を整える。 ・自分の思いがうまく表現されているか読み返し、推敲する。 ・複数の観点で比較しながらふさわしい表現を選び、作品全体を整える。 4 4 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。 ・完成した詩を読み合う。 ・伝わってきた思いや表現の工夫などについて、気づいたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、 <u>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</u> (Bエ) 主 ・粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。	詩を創作するなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)
		トロッコ 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑥ 情景描写 5時間 ●人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。(Cイ) ●情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cウ、Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・良平が、トロッコにどのような思いを抱いているかを考える。 2 2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。 ・登場人物の言動に着目する。 ・場面ごとに良平の心情を読み取り、その変化を捉える。 3 3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。 ・本文から情景描写を抜き出す。 ・情景描写から想像できる良平の心情と、表現の効果を考える。 → 読み方を学ぼう⑥ 情景描写 → 読書の広場「紅鯉」 ■二次元コード■ 5 4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。 ・最後の一文から受けるイメージについて考える。 ・大人になった良平と、「そのときの彼」との共通点について考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。</u> (Cウ) ③「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主 ・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。	小説を読み、考えたことを記録する。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		読書活動 ブッククラブ 【話す・聞く】 2 時間 ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。(知・技(3)オ) ●話し手の考えとの共通点や相違点をふまえながら、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本を読み、交流したい内容を考える。 ・グループで読む本を一冊決める。 → 読書の広場「小さな図書館」 ・決めた本を個人で読む。	知・技 ①引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ②読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
		2	2 グループで意見を交流し、読んだ本について自分の考えをまとめる。 ・グループになって、本を読んだ感想などを交流する。 ・グループのメンバーの話聞きながら、共通点や相違点をふまえて、自分の考えをまとめる。 ・グループで交流した内容をクラスに紹介する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・「話すこと・聞くこと」において、 <u>必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。</u> (Aエ) 主 ・積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。		
		漢字を身につけよう⑦ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ)	-
					主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
1	8 視野を広げる	意味と意図 ——コミュニケーションを 考える 【読む(説明)】 読み方を学ぼう⑦ 要約 4時間 ●必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。(Cウ) ●文章で読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章に示された事例について、比較して捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「意味」と「意図」について、本文を抜き出して整理する。 ・「ジャガイモ」と「窓」の例の共通点を見つける。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(Cア)
		2	2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ・「意図の理解」について、具体例をもとに捉える。 ・「意図の理解」が重要な理由を説明する。 → 読み方を学ぼう⑦ 要約 → 読書の広場「食感のオノマトペ」 二次元コード	主 ・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。		
		言葉発見⑤ 方言と共通語 1時間 ●共通語と方言の果たす役割について理解する。(知・技(3)ウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言のアクセントの特徴について考える。 3 方言と共通語の使い分けについて考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) ②共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) 主 ・進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つめる	少年の日の思い出 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点 5時間 ●登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。(Cイ) ●過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。(Cエ, Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 過去を回想する構成と登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・現在の場面と過去の場面に分けて登場人物を書き出し、関係を整理する。	知・技 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</u> ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 登場人物の人物像を、描写をもとに捉える。 ・「僕」のチョウに対する熱情を読み取る。 ・「僕」から見たエーミールの人物像を捉える。			
			3-4	3 登場人物の心情の変化を、描写をもとに捉える。 ・場面ごとに「僕」の心情を読み取り、その変化を捉える。 ・最終場面の描写から、「僕」の行為の意味を考える。		
			5	4 語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。 ・エーミールの人物像を自分の視点から捉え直す。 → 読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点 → 読書の広場「電車は走る」 ■二次元コード■ ・現在の場面が果たす役割を捉え、表現の効果について考える。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		漢字を身につけよう⑨ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		グループ新聞 一年間の自分とクラスを 振り返って 【話す・聞く】 3時間 【書く】 5時間 ●取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。(Aア, Aオ) ●読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。(Bウ, Bエ)	1-2 3-4 5-8	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集会議を開き、記事の内容を決める。 ・できごとを振り返り、記事にしたいものを書き出す。 ・四、五人のグループで編集部を作る。 ・編集部内で感想や情報を交換し合い、新聞の特徴、新聞名、記事の候補を決める。 ・記事の候補について、取材や編集会議をする。 →資料編「情報探しの方法」 2 レイアウトを決めて、記事を書く。 ・記事の場所を割り振り、字数・紙面の形と大きさ・見出し・写真の有無を確認する。 ・記事の執筆担当者を決め、文章を書き、図表やイラストを作成する。 3 記事を推敲して紙面を作り、新聞を読み合う。 ・記事を持ち寄り、読み手の立場に立って文章を読み合う。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・レイアウトにそって構成し、紙面を完成させる。 ・新聞を作る際に工夫したこと、新聞を読んで新たに気づいたことや感じたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</u> ②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ) ③「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ④「書くこと」において、 <u>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</u> 主 ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ) 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
		歌の言葉 栄光の架橋	-	-	-	-

令和 5 年度中学部 1 年 (I 課程) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105	中学生の地理 帝国書院	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(学・人) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	4	<p>(知及技) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解することができる。</p> <p>(思判表力) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人) 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p> <p>(思・判・表) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p> <p>(主学) 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 私たちの住む地球を眺めて</p> <p>2 いろいろな国の国名と位置</p> <p>3 緯度と経度</p> <p>4 地球儀と世界地図の違い</p>	<p>1 さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。</p> <p>2 国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。</p> <p>3 緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。</p> <p>4 地球儀と世界地図の構造を調べ、その違いや特色を理解するとともに、地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。</p>
	4	<p>(知及技) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解することができる。</p> <p>(思判表力) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人) 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。</p> <p>(思・判・表) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p> <p>(主学) 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 世界の中での日本の位置</p> <p>2 時差でとらえる日本の位置</p> <p>3 日本の領域とその特色</p> <p>4 都道府県と県庁所在地</p>	<p>1 地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。</p> <p>2 時差のしくみを理解し、日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを考える。</p> <p>3 領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。4 都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。</p>
	8	<p>(知及技) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解することができる。</p> <p>(思判表力) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p> <p>(思・判・表) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p> <p>(主学) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 世界のさまざまな生活と環境</p> <p>2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～</p> <p>3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～</p> <p>4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～</p> <p>5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～</p> <p>6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～</p> <p>7 世界各地の衣食住とその変化</p> <p>8 人々の生活と宗教の関わり</p>	<p>1 世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。</p> <p>2 インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>3 アラビア半島の人々の生活のようすから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>4 スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>5 シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>6 アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p>

				<p>7 世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。</p> <p>8 世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。</p>
--	--	--	--	--

1 学期

7	<p>(知及技) アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力)他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現することができる。</p> <p>(学・人)人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしていくことができる。</p>	<p>(知・技) アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p> <p>(思・判・表)他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現しようとしている。</p> <p>(主学)人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。</p>	<p>1 アジア州の自然環境</p> <p>2 アジア州の農業・文化と経済発展</p> <p>3 経済発展を急速に遂げた中国</p> <p>4 最も近い隣国、韓国</p> <p>5 経済発展を目指す東南アジア</p> <p>6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア</p> <p>7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</p>	<p>1 アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。</p> <p>3 中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。</p> <p>4 文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。</p> <p>5 外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。</p> <p>6 南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。</p> <p>7 西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。</p>
6	<p>(知及技) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU 統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解することができる。</p> <p>(思判表力)他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU 統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>(学・人)日本との比較をまじえながらヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及び EU 統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU 統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解している。</p> <p>(思・判・表)他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU 統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p> <p>(主学)日本との比較をまじえながらヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及び EU 統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>1 ヨーロッパ州の自然環境</p> <p>2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</p> <p>3 EU の成り立ちとその影響</p> <p>4 ヨーロッパの農業と EU の影響</p> <p>5 ヨーロッパの工業と EU の影響</p> <p>6 EU が抱える課題</p>	<p>1 地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。</p> <p>3 ヨーロッパ州の国境をこえた結びつきに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。</p> <p>4 ヨーロッパ州の農業における地域的特色と EU 統合による変化や課題を考える。</p> <p>5 ヨーロッパ州の工業における地域的特色と EU 統合による変化や課題を考える。</p> <p>6 EU 域内での経済格差に着目して、EU で発生している課題やこれからの EU のあり方について考える。</p>

	<p>(知及技) アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べることができる。</p> <p>(思判表力)一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断することができる。</p> <p>(学・人)モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べることができる。</p> <p>(思・判・表)一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断しようとしている。</p> <p>(主学)モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 アフリカ州の自然環境</p> <p>2 アフリカの歴史と文化</p> <p>3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済</p> <p>4 アフリカが抱える課題とその取り組み</p>	<p>1 赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。</p> <p>3 アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。</p> <p>4 アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。</p>
	<p>(知及技) 多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しとめることができる。</p> <p>(思判表力)北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>(学・人)世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しとめることができる。</p> <p>(思・判・表)北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察しようとしている。</p> <p>(主学)世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。</p>	<p>1 北アメリカ州の自然環境</p> <p>2 移民の歴史と多様な民族構成</p> <p>3 大規模な農業と多様な農産物</p> <p>4 世界をリードする工業</p> <p>5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</p>	<p>1 地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。</p> <p>3 北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。</p> <p>4 アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。</p> <p>5 アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。</p>
	<p>(知及技) 多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解しとめることができる。</p> <p>(思判表力)近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察しようとするすることができる。</p> <p>(学・人)多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解しとめることができる。</p> <p>(思・判・表)近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察しようとしている。</p> <p>(主学)多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。</p>	<p>1 南アメリカ州の自然環境</p> <p>2 多様な民族・文化と人々の生活</p> <p>3 大規模化する農業と成長する工業</p> <p>4 ブラジルにみる開発と環境保全</p>	<p>1 地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。</p> <p>3 南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。</p> <p>4 アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考える。</p>
<p>2 学期</p>	<p>(知及技) 自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べとめることができる。</p> <p>(思判表力)オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察しようとするすることができる。</p> <p>(学・人)広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べとめることができる。</p> <p>(思・判・表)オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察しようとしている。</p> <p>(主学)広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>1 オセアニア州の自然環境</p> <p>2 移民の歴史と多文化社会への歩み</p> <p>3 他地域と結び付いて発展する産業</p>	<p>1 地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。</p> <p>3 オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。</p>

4	<p>(知及技) 地形図や主題図の読図, 目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。</p> <p>(思判表力) 地域調査において, 対象となる場所の特徴などに着目して, 適切な主題や調査, まとめとなるように, 調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し, 表現することができる。</p> <p>(学・人) 地域調査の手法について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 地形図や主題図の読図, 目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 地域調査において, 対象となる場所の特徴などに着目して, 適切な主題や調査, まとめとなるように, 調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し, 表現しようとしている。</p> <p>(主学) 地域調査の手法について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 調査テーマを決めよう</p> <p>2 調査方法を考えよう</p> <p>3 野外調査を実行しよう</p> <p>4 調査を深めて結果を発表しよう</p>	<p>1 地域に対する疑問を整理して, 調査するテーマを設定し仮説を立てる。</p> <p>2 調査を進めるための調査項目や調査方法を考え, 野外調査の準備をする。</p> <p>3 野外調査と聞き取り調査を実施する。</p> <p>4 調査した結果をまとめたり, 資料を関連させたりして野外調査でわからなかったことを確かめ, 地域の特色や課題をとらえる。</p>
12	<p>(知及技) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に, 地域区分をする技能を身に付けている。</p> <p>(思判表力) 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現することができる。</p> <p>(学・人) 日本の地域的特色と地域区分について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に, 地域区分をする技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現しようとしている。</p> <p>(主学) 日本の地域的特色と地域区分について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 山がちな日本の地形</p> <p>2 川がつくる地形と海岸や海洋の特色</p> <p>3 日本の気候</p> <p>4 日本のさまざまな自然災害</p> <p>5 自然災害に対する備え</p> <p>6 日本の人口</p> <p>7 日本の資源・エネルギーと電力</p> <p>8 日本の農業・林業・漁業とそ の変化</p> <p>9 日本の工業とそ の変化</p> <p>10 日本の商業・サービス業</p> <p>11 日本の交通網・通信網</p> <p>12 さまざまな地域区分</p>	<p>1 日本の山地や造山帯の特色を理解する。</p> <p>2 日本の川と平野との関係や特色を理解する。</p> <p>3 日本の気候の特色や地域による違いを理解する。</p> <p>4 日本で発生する自然災害の特色を理解し, 地形や気候など自然環境との関連や課題を考える。</p> <p>5 日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し, 自然災害に対する備えを考える。</p> <p>6 日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し, 人々の生活に及ぼす影響を考える。</p> <p>7 日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について考える。</p> <p>8 日本の農業・林業・漁業の特色や課題, 変化を理解する。</p> <p>9 日本の工業地域の分布や工業出荷額をもとに, 日本の工業の特色と変化、課題を理解する。</p> <p>10 日本の商業・サービス業の現状と課題を理解する。</p> <p>11 交通網や通信網が発達することによっておこった, 世界や日本の地域間の結びつきの変化を理解する。</p> <p>12 日本を区分するさまざまな視点を知り, さまざまな地域区分があることを理解する。</p>
5	<p>(知及技) 地図や資料から, 九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業, 自然災害や防災への取り組みを読み取り, 九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や, 人々の生活や産業と自然環境とのかわりについて理解している。</p> <p>(思判表力) 自然環境に注目しながら, 九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>(学・人) 九州地方の自然環境と生活, 産業との関係について関心をもち, 九州地方の特色を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 地図や資料から, 九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業, 自然災害や防災への取り組みを読み取り, 九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や, 人々の生活や産業と自然環境とのかわりについて理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 自然環境に注目しながら, 九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察しようとしている。</p> <p>(主学) 九州地方の自然環境と生活, 産業との関係について関心をもち, 九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 九州地方の自然環境</p> <p>2 火山と共 生活</p> <p>3 自然を生かした九州地方の農業</p> <p>4 都市や産業の発展と自然環境</p> <p>5 南西諸島の自然環境と人々の生活や産業</p>	<p>1 九州地方を概観し, 自然や人々の生活の特色を理解する。</p> <p>2 火山の恵みと被害の両面を理解し, その利点の生かし方や防災への取り組みを考える。</p> <p>3 温暖な気候や火山活動の影響を受けた土地を生かした農業の実態をとらえ, その特色を理解する。</p> <p>4 アジアに近いという特色を生かして発展してきた都市や工業の歴史をとらえ, その特色を理解する。</p> <p>5 温暖な気候やアジアとの交流の歴史などに着目しながら, 特色のある南西諸島での人々の暮らしについて理解する。</p>

	<p>(知及技) 地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。 (思判表力)他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察することができる。 (学・人)中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解しようとしている。 (思・判・表)他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察しようとしている。 (主学)中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 中国・四国地方の自然環境 2 交通網の整備と人々の生活の変化 3 瀬戸内海 4 交通網を生かして発展する農業 5 人々を呼び寄せる地域の取り組み</p>	<p>1 中国・四国地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。 2 本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化について考える。 3 海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色について考える。 4 他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の特色について考える。 5 過疎化が進む山陰地域の、交通網の整備による変化について考える。</p>
5	<p>(知及技) 地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。 (思判表力)自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察することができる。 (学・人)自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解しようとしている。 (思・判・表)自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察しようとしている。 (主学)自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 5 環境に配慮した林業と漁業</p>	<p>1 近畿地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。 2 京阪神大都市圏の水源である琵琶湖の環境保全の重要性について考える。 3 阪神工業地帯の現状や課題を追究し、環境保全の取り組みについて考える。 4 京都や奈良の町なみの変化や歴史的景観を守る取り組みについて考える。 5 近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みについて考える。</p>
5	<p>(知及技) さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。 (思判表力)中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察することができる。 (学・人)産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解しようとしている。 (思・判・表)中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察しようとしている。 (主学)産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 中部地方の自然環境 2 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏 3 東海で発達するさまざまな産業 4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり 5 雪を生かした北陸の産業</p>	<p>1 中部地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。 2 中京工業地帯や東海工業地域の特色をとらえ、輸送機械工業がさかんな理由を考える。 3 都市向けの農業が発達した理由を考える。 4 時代の変化とともに移り変わってきた中央高地の産業の実態をとらえる。 5 北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を考える。</p>
3 学期	<p>(知及技) 関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 (思判表力)②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 (学・人)地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求することができる。</p>	<p>(知・技) 関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解しようとしている。 (思・判・表)②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 (主学)地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。</p>	<p>1 関東地方の自然環境 2 多くの人が集まる首都、東京 3 東京大都市圏の過密問題とその対策 4 人口の集中と第3次産業の発展 5 臨海部から内陸部へ移りゆく工場 6 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題</p>	<p>1 地図や景観写真、雨温図などを活用して関東地方を概観し、自然環境や人々の生活の基本的な特色を理解する。 2 さまざまな資料を活用して日本や世界における、東京の役割を考える。 3 人口が集中することによって発展した産業の特色を考えるとともに、サービス業や商業がさかんな理由を、人口や交通網とのかわりから考える。 4 人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。 5 関東地方の工業の発展や移り変わりを、人口の特色に着目して考える。 6 大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。</p>

5	<p>(知及技) 地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。</p> <p>(思判表力)東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>(学・人)東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察しようとしている。</p> <p>(主学)東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 東北地方の自然環境</p> <p>2 伝統行事と生活・文化の変化</p> <p>3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力</p> <p>4 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力</p> <p>5 工業の発展と人々の生活の変化</p>	<p>1 東北地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。</p> <p>2 祭りをはじめとする東北地方の伝統文化を生かした観光業の発展とこれからの考える。</p> <p>3 冷夏などの厳しい自然環境を克服し発展させてきた東北地方の稲作や畑作の努力について考える。</p> <p>4 果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について考える。</p> <p>5 工業の発達ももたらした人々の生活の変化について考える。</p>
5	<p>(知及技) 地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。</p> <p>(思判表力)産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>(学・人)自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心を持ち、北海道地方の特色を主体的に追究することができる。</p>	<p>(知・技) 地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察しようとしている。</p> <p>(主学)自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心を持ち、北海道地方の特色を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 北海道地方の自然環境</p> <p>2 雪と共にある北海道の人々の生活</p> <p>3 厳しい自然環境を克服してきた稲作</p> <p>4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業</p> <p>5 北国の自然を生かした観光業</p>	<p>1 北海道地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。</p> <p>2 北海道の人々の雪と関わる取り組みや工夫を理解する。</p> <p>3 厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた稲作の歴史を考える。</p> <p>4 大規模に展開する北海道の畑作や酪農、漁業の特色を考える。</p> <p>5 北海道の豊かで特色ある自然環境を生かして発達した観光業の特色を考える。</p>
5	<p>(知及技) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。</p> <p>(思判表力)地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。</p> <p>(学・人)地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとしている。</p> <p>(主学)地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>1 課題を把握しよう</p> <p>2 地域をとらえよう</p> <p>3 課題の要因を考察しよう</p> <p>4 課題の解決に向けて構想しよう</p> <p>5 課題の成果を発信しよう</p>	<p>1 持続可能な地域の在り方を構想するために、地域の地理的な課題を把握し、その解決に向けた追究の問い(テーマ)を設定する。</p> <p>2 追究のテーマに基づいた調査計画を立てるとともに、諸資料から地域の実態を把握する。</p> <p>3 調査結果を分析したり、他地域の状況と比較したりすることを通して、地域の課題の要因を考察する。</p> <p>4 地域の課題を解決するために必要な取り組みを考え、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想したり、議論したりする。</p> <p>5 構想の成果を分かりやすく説得力ある伝え方でまとめ、発表会や提言などの形で発信する。</p>
留意点引継ぎ等	<p>上記総時数 102テスト時数 3合計配当時数 105</p>			

		12	角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。また、直線上の点を通り、その直線に垂直な直線を作図する方法を考え、説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 角の二等分線を作図する方法を、線対称な図形の性質をもとにして考える。 角の2辺までの距離が等しい点は、その角の二等分線上にあることを知る。 直線上の点を通り、その直線に垂直な直線を作図する方法を考える。 [用語・記号] (角の) 二等分線	<ul style="list-style-type: none"> 角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 角の2辺までの距離が等しい点は、その角の二等分線上にあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 直線上の点を通り、その直線に垂直な直線を作図する方法を考え、説明することができる。 	
3	いろいろな作図 (教科書 p. 175～176)	13	基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 円の接線、接点の意味と円の接線の性質を知る。 基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図する。 [用語・記号] 接する, 接線, 接点	<ul style="list-style-type: none"> 円の接線, 接点の意味と円の接線の性質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図する方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
	基本の問題 (教科書 p. 176)	14					
	いろいろな角を作図してみよう (教科書 p. 177～178)	15 16	基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え、式や図を使って説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え、式や図を使って説明する。 複数の作図の方法を比べて、同じところやちがうところを話し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3 おうぎ形	どちらのピザが大きいかな? (教科書 p. 179)	17	身のまわりにあるものを円とみなして、その円を等分してできるおうぎ形に着目し、弧の長さや面積が中心角に比例することを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ピザを円とみなして、その円を等分してできるおうぎ形に着目し、中心角が2倍、3倍になると、弧の長さや面積がそれぞれ何倍になるかを調べる。 [用語・記号] おうぎ形, 中心角	<ul style="list-style-type: none"> おうぎ形と中心角の意味を理解している。 おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することを理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> おうぎ形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
	1 おうぎ形 (教科書 p. 180～181)	18	おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を、中心角に比例することをもとにして考える。 おうぎ形の弧の長さや面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することをもとにして、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 		
	章の問題A (教科書 p. 184)	19 20					

令和 5 年度中学部 1 年 (I 課程) 理科 年間指導計画

単位数 / 相当時数	教科書 / 副教材等	担当者名
105	東京書籍新しい科学 1 / 明治図書積み上げ理科 1 年 / 東京書籍新しい科学ワークブック基礎の徹底 1	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	7	(知及技) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力)身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 (学・人)生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。	(知・技) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【単元 1】第 1 章 生物の観察と分類のしかた	○観察 1：身近な生物の観察校内を散策し、身近な植物を探す。観察の視点(色、大きさ、形、場所など)を考えながら観察し、記録する。 ※学習する基本操作 ・ルーベの使い方 ・スケッチの仕方 ・双眼実体顕微鏡の使い方 ○観察 2：水中の小さな生物さがし 中学部横教材園の金魚池から水を採取し、顕微鏡で微生物を観察する。 ※学習する基本操作 ・ステージ上下式顕微鏡の使い方 ・プレパラートの作成方法○さまざまな生物の分類生物カードのさまざまな生物を生物の特徴や相違点に注目し、どのような基準で分類できるかを考える。
1 学期	10	(知及技) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力)身近な植物についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 (学・人)植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。	(知・技) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【単元 1】第 2 章 植物の分類	○身近な植物の分類植物を分類するときには、どのような共通点、相違点に注目すればよいか考える。 ○果実をつくる花のつくりテッポウユリやハイビスカスの花を外側から分解し、ルーベや双眼実体顕微鏡で観察する。 ○種子植物(裸子植物と被子植物) 種子植物のつくりを学び、被子植物と裸子植物の共通点と相違点を学ぶ。また、葉脈によって被子植物がさらに分類できることを学ぶ。 ○花をさかせない植物(シダ植物とコケ植物)シダ植物とコケ植物のつくりとふえ方について学ぶ。
	10	(知及技) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力)身近な動物についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 (学・人)動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。	(知・技) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【単元 1】第 3 章 動物の分類	○身近な動物の分類動物を分類するときには、どのような共通点、相違点に注目すればよいか考え、背骨の有無によって分類できることを学ぶ。 ○セキツイ動物セキツイ動物はからだのつくりや生活場所、子の生まれ方によってさらに 5 つのグループに分類できることを学ぶ。 ○無セキツイ動物無セキツイ動物(イカ等)の観察を通して、無セキツイ動物の中でのからだのつくりの共通点や相違点を考える。

	<p>(知及技)身のまわりの物質をさまざまな方法で調べる実験を通して、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 (思判表力)身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 (学・人)物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>	<p>(知・技)身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元2】第1章 身のまわりの物質とその性質</p>	<p>○金属と非金属身の回りの金属製品を探し、金属と非金属の性質の違いを考える。 ○さまざまな金属の見分け方金属同士の見分け方について、質量や体積に注目し、密度によって見分ける方法を学ぶ。○白い粉末の見分け方見分けにくい白い粉末(砂糖、食塩等)の見分け方を考え、実験によって検証する。有機物と無機物について学ぶ。</p>
--	---	--	-------------------------------	--

	<p>(知及技)気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 (思判表力)身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 (学・人)物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>	<p>(知・技)身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元2】第2章 気体の性質</p>	<p>○気体の性質と集め方気体(二酸化炭素、酸素、窒素、水素、アンモニア)の性質、発生方法、集め方について学ぶ。</p>
2学期	<p>(知及技)水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力)身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 (学・人)水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>	<p>(知・技)身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)水溶液について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元2】第3章 水溶液の性質</p>	<p>○水溶液について溶質、溶媒、溶液、水溶液の定義について学び、質量パーセント濃度で濃度を表せることを学習する。 ○溶解度と再結晶物質によって水への溶けやすさがちがうことを体験し、それを溶解度で表すことができることを学ぶ。溶解度は温度によって変化し、各物質の温度による溶解度の違いを利用して物質を取り出すこと(再結晶)が可能であることを学ぶ。</p>
	<p>(知及技)物質の状態変化についての観察、実験を通して、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。また、物質は融点や沸点をさかいに状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を通して、沸点のちがいで物質の分離ができることを見いだして理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力)身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 (学・人)状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ること</p>	<p>(知・技)身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表)状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学)状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元2】第4章 物質の姿と状態変化</p>	<p>○物質の状態変化と体積・質量の変化物質の状態は温度により変化すること、状態変化により物質の質量や体積がどのように変化するのか学ぶ。 ○状態変化が起こるときの温度と蒸留 沸点や融点の定義について学ぶ。沸点は物質の種類によって決まっていることを確認し、それを利用して混合物を分離する方法を考える。</p>

	<p>とができるようにする。(知及技)光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>(思判表力)光について問題点を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見だして表現する。</p> <p>(学・人)光に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>(知・技)光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)光について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)光に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元3】第1章 光の世界</p>	<p>○光の反射光の性質の一つである反射を学習し、反射によって光がどのように進むのかを理解して、作図できるようにする。</p> <p>○光の屈折光の屈折により光がどのように進むのかを学習し、作図できるようにする。</p> <p>○レンズのはたらき凸レンズにおける光の進み方や、物体の位置と像の見え方について学習し、作図によって説明できるようにする。</p>
	<p>(知及技)音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>(思判表力)音について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見だして表現する。</p> <p>(学・人)音に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>(知・技)音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)音について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)音に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元3】第2章 音の世界</p>	<p>○音の性質音は物体の振動によって生じていることを学び、音の大きさや高さや物体の振動の関係について考える。</p>
	<p>(知及技)物体に力をはたらかせる観察、実験を行い、物体に力をはたらくとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることや、力は大きさと向きによって表されること、物体にはたらく2力のつり合う条件を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>(思判表力)力について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見だして表現する。</p> <p>(学・人)力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>(知・技)力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)力のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元3】第3章 力の世界</p>	<p>○力のはかり方力の大きさは単位「N」で表せること、ばねばかりを使って測定できること、ばねののびと力の大きさには関係があることを学ぶ。</p> <p>○力の表し方物体にはたらく力について、力の矢印を用いて、力の大きさ、向き、作用点を図示する方法を学ぶ。</p> <p>○力のつり合い 1つの物体にはたらく2力のつり合いの条件を考える。</p>
3学期	<p>(知及技)大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p> <p>(思判表力)身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見だして表現する。</p> <p>(学・人)身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	<p>(知・技)大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見だして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>【単元4】身近な地形や地層、岩石の観察</p>	<p>○観察1：身近な地形、岩石を観察し、その特徴を記録する。</p>

7	<p>(知及技)大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p> <p>(思判表力)火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現する。</p> <p>(学・人)火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。</p>	<p>(知・技) 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	【単元4】第1章 火を噴く大地	<p>○火山が生み出すものマグマの粘性によって、火山の形や火山噴火のようす、火山噴出物に違いがあることを学ぶ。</p> <p>○火山の活動と火成岩マグマが冷え固まってできた火成岩について学習し、色や組織に注目して火成岩を分類する。(火山岩・深成岩)</p>
6	<p>(知及技)大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p> <p>(思判表力)地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現する。</p> <p>(学・人)地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。</p>	<p>(知・技) 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	【単元4】第2章 動き続ける大地	<p>○地震の波の伝わり方震源。震央、初期微動、主要道などの定義を学習し、地震による波の伝わり方を学習する。</p> <p>○地震が起こるところ震源分布から、プレート境界で地震が発生していることに気付く。</p>
9	<p>(知及技)大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p> <p>(思判表力)地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。</p> <p>(学・人)地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。</p>	<p>(知・技) 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>(思・判・表)地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>(主学)地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	【単元4】第3章 地層から読みとる大地の変化	<p>○堆積岩堆積岩(れき岩、砂岩、泥岩、石灰岩、チャート)の違いを粒子の大きさや出来る場所に注目して学ぶ。</p> <p>○地層や化石からわかること地層や化石からわかることについて考え、地層から過去のことを読み取るときの示準化石や示相化石の役割を学ぶ。</p> <p>○大地の変動海底でできた地層が山脈や山地になるために褶曲や断層をつくるような力が加わり隆起したことをプレート運動と関連づけて学習する。</p>
留意点引継ぎ等				

令和5年度 中学部 1年（I課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	中学生の音楽1 / 中学生の音楽2・3 上下 / 中学生の器楽 / 他	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよきや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学・人) 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>(学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>(思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	曲想と曲の構成を感じ取って歌唱表現を工夫しよう	「We'll Find The Way」 「夢の世界を」 「My Voice!」 「リズムゲーム・リズムアンサンブル」
	4	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造との関わり及び楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。</p> <p>(学・人) 4つのパートの役割に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	「千の風になって」 「カントリーロード」
	4	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>(学・人) 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	「ジョーズのテーマ」
2学期	4	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>(学・人) 旋律や強弱を生み出す曲想の変化、音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>(思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	曲想やパートの役割を感じ取って歌唱表現を工夫しよう	「君をのせて」 「翼をください」
	4	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>(思判表力) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。</p> <p>(学・人) 曲の構成に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>(思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>(主学) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	曲の構成を理解して表現を工夫しよう	「風に乗って」

	4	<p>(知及技) 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 (思弁表力) リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 (学・人) 反復、変化、対象などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解している。創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (主学) 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>	音の重なり方や反復、変化を理解して創作表現を工夫しよう	「Let's Create!」 「My Melody」
	3	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思弁表力) 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	「魔王」
3 学期	4	<p>(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (思弁表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	仲間とともに表情豊かに歌おう	「卒業式の歌」
	4	<p>(知及技) 我が国や郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 (思弁表力) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 音楽の特徴と多様性に触れ、我が国の音楽や音楽表現との比較を通して共通性や固有性について考える学習に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 我が国や郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	副「敦盛」 沖縄の伝統音楽「組踊」に親しもう
留意点 引継ぎ等	○儀式・行事の曲（「校歌」「友だちになれたらいいね」「月桃」「いのちのリレー」等）				

令和5年度中学部1年(1課程) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	教科書/副教材等	担当者名
35	光村図書	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価:(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。</p> <p>(思判表力) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	<p>(知及技) 形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解する。</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや美しさを感じ取り、色彩などの表現の工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に色彩などの工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 造形的なよさや美しさを感じ取り、色彩などの表現の工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>(主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に色彩などの工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 「うつくしい！」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・美術の約束 ・foamsを使った実態把握アンケート ・鑑賞 谷川俊太郎「うつくしい！」を観て
	2	<p>(知及技) 自分の感じ取った美しさに合った構図などを選択し、意図に応じて工夫して表す。</p> <p>(思判表力) 身近なものや風景を見つめ、感じ取った美しさなどをともに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、作品からさまざまな表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に楽しく取り組む。</p>	<p>(知・技) 自分の感じ取った美しさに合った構図などを選択し、意図に応じて工夫して表している。</p> <p>(思・判・表) 身近なものや風景を見つめ、感じ取った美しさなどをともに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>(主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、作品からさまざまな表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p>	<p>【写真撮影・鑑賞】 「it's my beautiful !」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadでお気に入りの撮影する ・写真選びとコメント書き ・写真を掲示するためにレイアウトする ・鑑賞と発表
	4	<p>(知及技) 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、ピカソがゲルニカに託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解する。</p> <p>(思判表力) ゲルニカの造形的なよさや美しさを感じ取り、平和をテーマにした作品を表現する。</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取ったり、自分の思いや考えを作品に表したりする。</p>	<p>(知・技) 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、ピカソがゲルニカに託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。</p> <p>(思・判・表) ゲルニカの造形的なよさや美しさを感じ取り、平和をテーマにした作品を表現しようとしている。</p> <p>(主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取ったり、自分の思いや考えを作品に表したりしようとしている。</p>	<p>【鑑賞】 「ゲルニカ」</p> <p>【絵画表現】 「平和とは？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゲルニカを見る少年」の鑑賞 ・ピカソ作品「ゲルニカ」の鑑賞 ・絵画表現「ぼくが描く平和」
3	<p>(知及技) 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、装飾物の造形的な特徴をもとに、デザインの役割や働きを全体のイメージで捉えることを理解する。</p> <p>(思判表力) 装飾物の調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、地域の人々にとってのデザインの役割や働きなどをかんがえるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。</p> <p>(学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にデザインの役割や働きについて見方を深める鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、装飾物の造形的な特徴をもとに、デザインの役割や働きを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 装飾物の調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、地域の人々にとってのデザインの役割や働きなどをかんがえるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>(主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にデザインの役割や働きについて見方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>デザイン 1, 色について 2, 夏色のモバイル制作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色や光の特徴について(色の三原色・光の三原色、色の対比・補色、色相環など) ・色の組み合わせについて(色の調子・配色・錯視など) ・半立体作品「夏色のモバイル」制作(合作) 	

	<p>(知及技) 形や色、構成や配置などが見る人に与える効果や造形的な特徴をもとに、印象に残るシンボルマークを全体のイメージで捉えることを理解する。 (思判表力) 学校の魅力を表現するために、学校の特色などから主題を生み出し、形や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しくシンボルマークやキャラクターを考え、工夫してあらかず表現の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 形や色、構成や配置などが見る人に与える効果や造形的な特徴をもとに、印象に残るシンボルマークを全体のイメージで捉えることを理解している。 (思・判・表) 学校の魅力を表現するために、学校の特色などから主題を生み出し、形や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 (主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しくシンボルマークやキャラクターを考え、工夫してあらかず表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【デザイン】 「あわせ」の魅力について考えよう</p>	<p>1, 校章について 2, シンボルマークデザイン 3, ゆるキャラの考案</p>
2 学期	<p>(知及技) クレイ粘土の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 (思判表力) 身の回りのものから創造を広げることで主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、アニメーションや表現のおもしろさを感じ取りながら仲間と共同で動画制作に取り組む。</p>	<p>(知・技) クレイ粘土の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 (思・判・表) 身の回りのものから創造を広げることで主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、アニメーションや表現のおもしろさを感じ取りながら仲間と共同で動画制作に取り組もうとしている。</p>	<p>【粘土制作・動画編集】 「クレイアニメーションに挑戦！」</p>	<p>・クレイアニメーション動画視聴 ・映像制作の流れについて ・クレイ粘土について ・クレイアニメキャラクターの制作 ・動画編集 ・上映会</p>
	<p>(知及技) 自分の主題に応じて、制作の順序を考え、見通しを持ち工夫して模様を表す。 (思判表力) 身の回りの形や色の特徴などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練る。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して模様をつくる表現の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 自分の主題に応じて、制作の順序を考え、見通しを持ち工夫して模様を表している。 (思・判・表) 身の回りの形や色の特徴などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。 (主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して模様をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【デザイン・コンピュータグラフィックス】 「生活をいろいろの文様」</p>	<p>・パソコンや iPad などを使用して、デザインを考える ・文様をリビテーション（繰り返し）で表現する ・包装紙などにプリントアウト</p>
3 学期	<p>(知及技) 身の回りにある様々な紙類の特徴を生かし、それらを材料にして意図に応じて創意工夫して表す。 (思判表力) 主題や紙類の特徴をもとに全体と部分との関係などを話し合いながら、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく材料の特徴を生かし、それらを組み合わせて表す表現の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 身の回りにある様々な紙類の特徴を生かし、それらを材料にして意図に応じて創意工夫して表している。 (思・判・表) 主題や紙類の特徴をもとに全体と部分との関係などを話し合いながら、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく材料の特徴を生かし、それらを組み合わせて表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【立体制作：合作】 アワセモニュメントを考えよう。作ろう。</p>	<p>・モニュメントについて知る（身近なものや世界のもの） ・校内に飾るモニュメントについて全員で構想を練る。 ・モニュメントの材料を考える。 ・作品を展示する。</p>
	<p>(知及技) 形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、全体のイメージで捉えることを理解する。 (思判表力) 表現の良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考え、見方や感じ方を広げる。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現の良さや美しさを感じとる鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>(知・技) 形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。 (思・判・表) 表現の良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考え、見方や感じ方を広げている。 (主学) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現の良さや美しさを感じとる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【鑑賞・まとめ】 「美術って何だろ？」</p>	<p>・制作した作品や名画を鑑賞し、ワークシートにまとめて発表する。 ・自己評価（振り返り）</p>
留意点引継ぎ等				

令和 5年度 中学部1年（I課程グループ）保健体育 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	新しい保健体育（東京書籍）	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようになる。 (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
----	----	----------	------------	--------	------------

年間を通して	8	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともにその行い方がわかり、友達と関わったり、動きを継続する能力などを高めることができる。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともにその行い方がわかり、友達と関わったり、動きを継続する能力などを高めようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	① 体づくり運動 ・体操、ダンス ・5分間走	・伸び伸びとした動作で行う運動。(ストレッチ体操等) ・リズムに乗って行う運動。(ツバメダンス、ラジオ体操等) ・歩いたり、走ったりする運動。 ・校外学習
	8	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身につけることができる。 (思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身につけようとしている。 (思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。	② 保健分野 ・病気の予防 ・体のしくみ ・体の発育 ・応急処置	・水泳の事前学習で「衛生」や「規則正しい生活」についての学習を行う。 ・身体測定を通して、自分自身の成長と友だちとの違いを学習する。

一学期	8	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思判表力) 球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	③ 球技（ボウリング）	・スライダーを使い球を転がす。 ・倒したピンを数える。 ・シューターの向きを調整する。 ・個人戦と団体戦の試合を行う。
	8	(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方がわかり、基本的な動きや技能を身につけることができる。 (思判表力) 陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方がわかり、基本的な動きや技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	④ 陸上競技（短距離走・リレー）	・決められた短い距離を自分なりの方法で走ったり、歩いたり、電動車ですて移動したりする。 ・自分のコースを走る練習 ・バトンパスの練習

一学期	8	(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけることができる。 (思判表力) 初歩的な泳ぎについて自分の課題を見つけその解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	(知・技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 初歩的な泳ぎについて自分の課題を見つけその解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	⑤ 水泳	・水慣れ（シャワー・足浴・顔つけ） ・水中ウォーキング ・ビート板等の浮き具を使用した活動 ・浮力を利用して様々な動きを行う活動。
-----	---	---	--	------	--

二学期	20	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思判表力) 球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	⑥ 球技（コントロールアタック・ティーベースボール）	(コントロールアタック) ・指定した場所から指定した的を狙い投げられる活動。 ・ねらう的を自分で決め投げる活動。 ・個人戦とチーム戦の試合を行う。 (ティーベースボール) ・ティーに置かれたボールをバットにあてる活動。 ・素早く一塁まで移動する活動。 ・転がってきたボールをキャッチしたり、触れる位置まで移動する活動。 ・攻撃と守備の一連の動作を確認し実践する活動。 ・試合
-----	----	--	---	----------------------------	--

二学期	8	(知及技) エイサーの楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本的な動きを身につけ、表現して踊ったりすることができる。 (思判表力) エイサーについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) エイサーに進んで取り組み、きまりなどを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動ができる。	(知及技) エイサーの楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本的な動きを身につけ、表現して踊ったりしようとしている。 (思判表力) エイサーについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (学・人) エイサーに進んで取り組み、きまりなどを守り友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	⑦ 運動会の取り組み（エイサー等）	・前回の運動会の鑑賞 ・曲に合わせてバーランクーを叩く。 ・動画を見ながら振り付けを覚える。
-----	---	---	--	-------------------	--

三学期	9	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表 振り返りシートで評価する。	⑧球技 (車いすサッカー)	<ul style="list-style-type: none"> ・大ボールを手で押したり、車いすを操作しながら押したりする活動。 ・動いているボールを止める運動。 ・ゴールに向かってボールを押し転がし、得点したりする運動。
	9	(知及技) 年間を通して取り組んだ活動内容を思い出することができる。 (思判表力) これまでの活動の中から、もう一度挑戦したいことを選ぶことができる。 (学・人) 友だちと作戦を立て、楽しく安全に活動することができる。	(知・技) 年間を通して取り組んだ活動内容を思い出そうとしている。 (思・判・表) これまでの活動の中から、もう一度挑戦したいことを選ぶようとしている。 (主学) 友だちと作戦を立て、楽しく安全に活動しようとしている。	⑨チャレンジカップ	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や記録を通して、1年間の取り組みを確認する。 ・好きな競技を選ぶ。 ・皆と選んだ競技の内容やルールを再確認してゲームを行う。
留意点引継ぎ等					

令和5年度(2023年度)用	中学校技術・家庭 技術分野用
----------------	----------------

* (知) …知識・技能 (思) …思考・判断・表現 (態) …主体的に学習に取り組む態度
 *★…「主体的に学習に取り組む態度」は、複数の学習内容にまたがる長期的な評価規準となる。

■ 1年

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点
1 5 2	技術分野のガイダンス	A(1) B(1) C(1) D(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表する。 ・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。 <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルに沿って問題解決を行うことを確認するとともに、社会における問題解決も同様の流れであることを知る。 ・3学年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして、3年後にできるようになっていたことを内容ごとにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を参考に、身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・「技術の見方・考え方」とは、「生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること」であることを押さえる。 ・設計・製作を中心としたものづくりではなく、「技術による問題解決」に取り組むことを知らせる。 ・3学年間で学習する材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術について、見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態)
3 5 1 2	4 編 1 章 情報の技術の原理・法則と仕組み		<ul style="list-style-type: none"> ①情報の技術とは何だろう <p style="margin-left: 20px;">D(1) アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。 ・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめる。 <p style="margin-left: 20px;">[他教科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小) 社会5年：我が国の情報と産業との関わり ・(小) 理科6年：電気の利用 ・数学2年：データの分布の比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・家や学校、工場などの場面を例示して、コンピュータなどの情報の技術が利用されていることを確認する。 ・身の回りにあるコンピュータの種類や形状、機能などをまとめさせる。 ・アナログ情報とデジタル情報の違いについて考えさせる。 ・情報の技術によって実現できることを挙げさせる。 ・小学校では、どのようなプログラミング体験を行ったか思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。(知) ★主体的に情報の技術について考えようとしている。(態)。
			<ul style="list-style-type: none"> ②情報のデジタル化 <p style="margin-left: 20px;">D(1) アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。 ・情報のデジタル化の方法をまとめる。 ・画像をデジタル化する方法やデータ量との関係についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字情報のデジタル化を例にデジタル化の方法を確認させる。 ・画像のデジタル化を例に、デジタル化とデータ量について確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。(知)
			<ul style="list-style-type: none"> ③情報通信ネットワークの仕組み <p style="margin-left: 20px;">D(1) アイ</p> <p style="margin-left: 20px;">D(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みについてまとめる。 ・情報通信ネットワークを使って、情報をやりとりする仕組みについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校におけるLANを例に、情報通信ネットワークを構成するために必要な機器や接続できる情報機器について説明する。 ・電子メールやSNSなど身近な例を取り上げ、情報通信ネットワークを使って、情報をやりとりする仕組みについて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成について理解している。(知) ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。(知)

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点
	④安全に利用するための情報モラル	D(1)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 情報の特性について考え、情報が社会に与える影響について調べる。 望ましい情報社会のための態度について考える。 [家庭分野] ・消費生活・環境 [他教科] ・国語1年：情報の整理（引用の仕方） ・道徳：情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化された情報のプラス面、マイナス面について考えさせ、マイナス面への対策として、どのような仕組みや態度が必要かを考えさせる。 著作権を含めた知的財産権の保護の必要性を伝え、知的な創造活動や発明のためにも、必要な権利であることを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。(知) ★情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。(態)
	⑤安全に利用するための情報セキュリティ	D(1)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティを実現するための3つの要素を知る。 [機密性 ・完全性 ・可用性 ・情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティの重要性について考える。 ・セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステムがあることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティに関するトラブルの例から、危険性について確認させる。 身の回りにおけるコンピュータやスマートフォンなどのセキュリティ対策について調べさせる。 情報通信ネットワークへの不正侵入やデータの改ざんなどを防ぐサイバーセキュリティの重要性について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティの基本的な知識について理解している。(知) ★情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。(態)
	⑥情報の技術の工夫を読み取ろう	D(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術に込められた問題解決の工夫について、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性などに着目させ、技術が最適化されてきたことに気付かせる。 利用者の視点だけではなく、開発者の視点でも考えられるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思)
13519	4編2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう	D(2)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べる。 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツに利用されているメディアの例とその特徴を整理させる。 情報処理の手順を表現する図として、アクティビティ図やフローチャートについて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。(知) ★主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。(態)
	②問題を発見し、課題を設定しよう	D(2)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。 発見した問題を解決するための課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて問題を見いだすことができるように配慮する。 身近なコンテンツが解決している問題を参考に、必要な機能、対象者、使用する環境、使用時の安全性などについても考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)
	③コンテンツを構想しよう	D(2)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。 [構想の具体化 ・情報処理の手順の整理 ・必要な機能の整理	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の立場を意識し、メディアの特徴を生かして、利用しやすい構成になるように考えさせる。 アクティビティ図を用いることで、複数の情報処理の手順を統合して全体の構想を確認できることを伝える。 グループでコンテンツを制作する場合は、役割分担と制作計画を立てさせる。 制作環境や制作時間を考慮させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。(思) ★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態)

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点
	④コンテンツのプログラムを制作しよう	D(2)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認，デバッグを行う。 使用する人のことを考えてプログラムを制作する。 <p>[他教科]</p> <ul style="list-style-type: none"> (小) 算数5年：正多角形をかく手順を考えよう（プログラミング体験） 美術：表現（コンピュータにおける映像メディアの活用） 	<ul style="list-style-type: none"> 文字，音声，静止画，動画などコンテンツの制作に必要な素材を準備させる。 アクティビティ図を確認しながらプログラムを制作させる。 完成したプログラムを実行して，目的の動作をしているか確かめさせる。異なる場合は理由を考えさせ，デバッグさせる。 著作権や個人情報の扱いなど情報モラルの重要性を考えながら制作させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認，デバッグができる技能を身に付けている。(知) 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ★他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。(態)
	⑤問題解決の評価，改善・修正	D(2)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り，解決結果及び解決過程を評価し，改善・修正する方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の評価の観点を決め，その評価の観点に基づいて評価させる。 <ul style="list-style-type: none"> 見やすさ 操作のしやすさ 制作工程が適切か 誤りが少ないか 著作権への配慮 など 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身に付けている。(思) ★自らの問題解決を振り返り，よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
20033	4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ★統合的な問題解決				
	①計測・制御システムとは何だろう	D(3)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある計測・制御システムを調べる。 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御システムには，コンピュータのほかに，センサ，仕事を行う部分，インタフェースが必要なことを知らせる。 自動運転技術などの計測・制御システムを例に，情報処理の手順を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知) 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。(知) ★主体的に情報の技術について考えようとしている。(態)
	②問題を発見し，課題を設定しよう	D(3)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 発見した問題を解決するための課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて問題を見いだすことができるように配慮する。 社会からの要求，使用者の安全，利便性などの視点から実現したい自動化，システム化を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)
	③計測・制御システムを構想しよう	D(3)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し，解決策を具体化する。 <ul style="list-style-type: none"> センサと仕事を行う部分の選択 計測・制御システムの構成の整理 情報処理の手順の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の「技術の見方・考え方」を働かせて，解決策を具体化できるように支援する。 フローチャートやアクティビティ図などを用いて情報処理の手順を整理させ，計測・制御システムを構想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 入出力されるデータの流れを基に，計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思) ★自分なりの新しい考え方や捉え方によって，知的財産を創造するとともに，他者のアイデアを尊重し，それらを保護・活用しようとしている。(態)
	④計測・制御システムのプログラムを制作しよう	D(3)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認，デバッグを行う。 エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして，自動化・システム化が実現するプログラムを制作する。 <p>[他教科]</p> <ul style="list-style-type: none"> (小) 理科6年：電気の利用（プログラミング体験） 	<ul style="list-style-type: none"> フローチャートやアクティビティ図を確認しながらプログラムを制作させる。 完成したプログラムを実行して，目的の動作をしているか確かめさせる。異なる場合は理由を考えさせ，デバッグさせる。 実際に動作させた結果を踏まえ，より効率的で確実な動作をするようにプログラムを改良させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認，デバッグができる技能を身に付けている。(知) 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ★他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。(態)

時間	指導項目	指導要領	学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点
	⑤問題解決の評価, 改善・修正	D(3)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り, 解決結果及び解決過程を評価し, 改善・修正する方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の評価の観点を決め, その評価の観点に基づいて評価させる。 安全性 環境への配慮 正確性 使いやすさ 制作工程が適切か 誤りが少ないか 著作権への配慮 など 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し, 改善及び修正する方法について考えている。(思) ★自らの問題解決を振り返り, よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
3 4 5	4編4章 社会の発展と情報の技術				
	①情報の技術の最適化	D(4)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題解決における最適化の場面を振り返り, 社会の問題解決における最適化と比較する。 社会からの要求 <ul style="list-style-type: none"> 安全性 環境への負荷 経済性 情報の技術のプラス面, マイナス面について考え, これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会における情報の技術は, さまざまな制約条件の基で折り合いを付け, 効果が最も目的に合ったものになるように工夫されていることに気付かせる。 情報の技術は, 生活や社会を豊かにする光の側面がある一方で, 不正アクセスなどの危険性のような影の側面があることも伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術の概念について理解している。(知) 情報の技術の最適化について考えている。(思)
	②これからの情報の技術	D(4)アイ	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築のために, これからの情報の技術について考える。 <p>[他教科]</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科3年: 自然環境の保全と科学技術の利用 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて, 技術を評価し, 選択, 管理・運用, 改良・応用していくことの大切さについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 情報の技術を評価し, 適切な選択, 管理・運用, 改良, 応用について考えている。(思) ★よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)

令和 5 年度 中学部 1 年 (I 課程) 家庭科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	教科書 / 副教材等	担当者名
1/35	東京書籍 新しい技術・家庭 家庭分野・学習ノート	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解とそれらに係る技能を身に付けることができる。 (思判表力) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力を身につけることができる。 (学・人) 加増や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけることができる。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	(知及技) 衣服と社会生活との関わりについて理解することができる。 (知及技) 目的に応じた着用について理解することができる。	(知・技) 衣服と社会生活との関わりについて理解している。 (知・技) 目的に応じた着用について理解している。	①衣服を着るの दौरान	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。
		(知及技) 個性を生かす着用について理解することができる。 (思判表力) 自分らしい着方について考え、工夫できる。 (学・人) 目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について、工夫し創造し、実践できる。	(知・技) ・個性を生かす着用について理解している。 (思・判・表) 自分らしい着方について考え、工夫している。 (主学) 目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について、工夫し創造し、実践しようとしている。	②私らしさと T.P.O～着方の工夫～	・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。
		(知及技) ・衣服と社会生活との関わり (和服) について理解できる。 (学・人) 衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・衣服と社会生活との関わり (和服) について理解している。 (主学) 衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	③日本の衣文化	・日本の伝統的な衣文化について知り、和服と洋服の構成や着方の違いに気付く。
		(知及技) ・衣服の適切な選択について理解することができる。 (知及技) 衣服の計画的な活用の必要性について理解することができる。 (思判表力) 衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) 衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) ・衣服の適切な選択について理解している。 (知・技) 衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 (思・判・表) 衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) 衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	④衣服計画と必要な衣服の選択	・衣服調べをして、必要な衣服の量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。 ・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製品の適切な選択方法を知る。
		(知及技) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解できるとともに、適切にできる。 (思判表力) 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方 (洗濯、収納、補修、アイロンなど) について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方 (洗濯、収納、補修、アイロンなど) について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解できるとともに、適切にできる。 (思・判・表) 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方 (洗濯、収納、補修、アイロンなど) について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学) 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方 (洗濯、収納、補修、アイロンなど) について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	⑤衣服の手入れ	・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。

	<p>(知及技) 製作する物に適した材料や縫い方について理解することができる。</p> <p>(知及技) 用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</p> <p>(思・判・表)資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。</p> <p>(学・人)資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。</p>	<p>(知・技) 製作する物に適した材料や縫い方について理解している。</p> <p>(知・技) 用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</p> <p>(思・判・表)資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>(主学) 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>①作って楽しい布作品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、あるといいなと思うものを考えさせる。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 ・身の回りの生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする具体的な物を製作する。
	<p>(思判表力)持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫することができる。</p> <p>(主学)よりよい衣生活を目指して、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、工夫し創造し、実践することができる。</p>	<p>(思・判・表) 持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。</p> <p>(主学)よりよい衣生活を目指して、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>②持続可能な衣生活を目指して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。
	<p>(知及技) 家族の生活と住空間との関わりについて理解することができる。</p> <p>(知及技) 住居の基本的な機能について理解することができる。</p>	<p>(知・技) 家族の生活と住空間との関わりについて理解している。</p> <p>(知・技) 住居の基本的な機能について理解している。</p>	<p>①もしも住まいがなかったら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。
18	<p>(知及技) 和式の住まい方や日本各地の住まいの特徴などと住空間の関わりについて理解することができる。</p> <p>(主学)住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 和式の住まい方や日本各地の住まいの特徴などと住空間の関わりについて理解している。</p> <p>(主学)住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>②住まいと気候風土の関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解する。 ・日本では各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気付く。
	<p>(知及技) 室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。</p> <p>(思判表力)室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。</p> <p>(主学)室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p> <p>(思・判・表)室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。</p> <p>(主学)室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>③健康で快適な室内環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。
8	<p>(知及技) 家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。</p> <p>(思判表力)家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え工夫することができる。</p> <p>(主学)家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。</p>	<p>(知・技) 家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p> <p>(思・判・表) 家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え工夫している。</p> <p>(主学)家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>④家族の住まいを安全・安心に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。
	<p>(知及技)・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。</p> <p>(思判表力)自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え工夫することができる。</p> <p>(主学)自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。</p>	<p>(知・技)・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p> <p>(思・判・表) 自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え工夫している。</p> <p>(主学)自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>⑤災害への対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。

(思判表力)持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫することができる。 (主学)よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践することができる。	(思・判・表)持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 (主学)よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとしている。	⑥持続可能な住生活を目指して	・持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。
--	---	----------------	--------------------------------

(知及技) 物資・サービスについて理解することができる。 (知及技) 売買契約の仕組みについて理解することができる。	(知・技) 物資・サービスについて理解している。 (知・技) 売買契約の仕組みについて理解している。	①消費者としての自覚	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について理解する。
(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴を理解することができる。	(知・技) 購入方法や支払い方法の特徴を理解している。	②購入方法と支払い方法	・具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。
(知及技) 計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。 (思判表力)自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫することができる。 (主学)計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) 計画的な金銭管理の必要性について理解している。 (思・判・表)自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫している。 (主学)計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	③バランス良く計画的な金銭の管理	・計画的な金銭管理の必要性を理解する。 ・三者間契約の仕組みについて理解する。
(知及技) 消費者トラブルの事例とその対応について理解することができる。 (思判表力)消費者トラブルを未然に防いだり解決したりするための方法を考え、工夫することができる。 (主学)消費者トラブルの対応について、課題の解決に主体的に取り組む生活を工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) 消費者トラブルの事例とその対応について理解している。 (思・判・表)消費者トラブルを未然に防いだり解決したりするための方法を考え、工夫している。 (主学)消費者トラブルの対応について、課題の解決に主体的に取り組む生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	④消費者トラブルとその対策	・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・消費者トラブルの解決方法をグループで話し合い、発表する。
9 (知及技) 商品（物資・サービス）の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (思判表力)商品（物資・サービス）の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 (主学)商品（物資・サービス）の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) 商品（物資・サービス）の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (思・判・表)商品（物資・サービス）の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学)商品（物資・サービス）の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	⑤何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～	・商品（物資やサービス）を適切に選択、購入する方法について考える。 ・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。
(知及技) 消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。 (思判表力)自立した消費者としての消費行動について考え、工夫することができる。 (主学)消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) 消費者の基本的な権利と責任について理解している。 (思・判・表)自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。 (主学)消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。	①消費者としてできること～権利と責任～	・実際の消費生活と結び付け消費者の権利や責任について理解する。
(知及技) 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。 (思判表力)自立した消費者としての環境に配慮した生活について考え、工夫することができる。 (主学)自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践することができる。	(知・技) 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 (思・判・表)自立した消費者としての環境に配慮した生活について考え、工夫している。 (主学)自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。	②省エネルギーと持続可能な社会	・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響について知らせ、エネルギー消費を減らす方法について考える。

	<p>(思判表力)持続可能な消費生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫することができる。</p> <p>(主学)自立した消費者としての社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践することができる。</p>	<p>(思・判・表)持続可能な消費生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。</p> <p>(主学)自立した消費者としての社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>③持続可能な消費生活を目指して</p>	<p>・持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。</p>
	<p>(知及技) 家族や家庭生活との関わりについて理解することができる。</p> <p>(知及技) 家族・家庭の基本的な機能について理解することができる。</p> <p>(知及技) 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力)自分や家族がになう家族・家庭の基本的な機能を考え、生活を工夫することができる。</p>	<p>(知・技) 家族や家庭生活との関わりについて理解している。</p> <p>(知・技) 家族・家庭の基本的な機能について理解している。</p> <p>(知・技) 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。</p> <p>(思・判・表)自分や家族がになう家族・家庭の基本的な機能を考え、生活を工夫している。</p>	<p>①私たちの生活と家族・家庭の機能</p>	<p>・家庭や家族の基本的な機能について考える。</p> <p>・家庭や家族の大切さについて考える。</p> <p>・自分の成長を振り返る。</p>

3	<p>(知及技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解することができる。</p> <p>(知及技) 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力)自立に向けて中学生の自分にできることを考え、工夫することができる。</p>	<p>(知・技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。</p> <p>(知・技) 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。</p> <p>(思・判・表)自立に向けて中学生の自分にできることを考え、工夫している。</p>	<p>②中学生としての自立</p>	<p>・自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考える。</p>
	<p>(知及技) 地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くことができる。</p> <p>(知及技) 地域の幼児や高齢者など、自分と異なる立場の存在に気付くことができる。</p>	<p>(知・技) 地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。</p> <p>(知・技) 地域の幼児や高齢者など、自分と異なる立場の存在に気付いている。</p>	<p>③家庭生活と地域との関わり</p>	<p>・地域の活動などを調べ、自分や家族がどのように関わっているか考える。</p>

留意点引継ぎ等				
---------	--	--	--	--

令和5年度 中学部1年（I課程） 英語科 年間指導計画

単位数/ 配当時数	教科書／副教材等	担当者名
140	Here We Go !	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>【中学校 外国語】</p> <p>(知及技) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16	<p>(知及技) I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~を使った話から出身地、年齢、好きなものや好きでないもの、できることやできないことを正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) 自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できること、その他の情報を適切に書いている。</p> <p>(学・人) 登場人物の自己紹介カードを完成させるために、その人物が自己紹介カードを作っている場面の会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。</p>	<p>(知・技) I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~の構文について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 登場人物の自己紹介カードを完成させるために、その人物が自己紹介カードを作っている場面の会話から、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>(主学) 自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに自分についての情報を積極的に書こうとしている。</p>	<p>Unit 1 「Here We Go」</p> <p>・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。</p> <p>・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。</p> <p>「Let's Be Friends!」</p>	<p>・ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>① I'm ~. ② I (don't) like ~. ③ I can [can't] ~.を使った文を聞いたり、話したり、書いたりする。</p> <p><Goal>自己紹介カードを作ろう ・会話から登場人物の情報を聞き取ったり、自己紹介カードに自分の情報を書いたりする。</p> <p>・ALTと積極的に英語らしい発音で会話をしようとしている。</p>
	16	<p>(知及技) Are you ~? Do you ~? Can you ~?を使った会話から、相手の情報、部活動の様子、できることやできないことを正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) 相手に合う部活動を診断するために、疑問文を適切に使って好きなことや得意なことをたずね合っている。</p> <p>(学・人) 登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取ろうとしている。</p>	<p>(知・技) Are you ~? Do you ~? Can you. ~?の構文について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取り、適切に理解している。</p> <p>(主学) 相手に合う部活動を診断するために、積極的に質問しようとしている。</p>	<p>Unit 2 「Club Activities」</p> <p>・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。</p> <p>・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。</p> <p>WorldTour 1 「世界の中学生」</p>	<p>・ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>① Are you ~? ② Do you ~? ③ Can you ~?を使った文を聞いたり、話したり書いたりする。</p> <p><Goal>おすすめの部活動を診断しよう・会話から好みや得意なことなどを聞き取ったり、好みや得意なことなどについてたずね合ったりする。</p> <p>・世界の中学生の話で印象に残ったことを積極的に発言し、ALTと外国の文化についてたずねあったりする。</p>

	<p>(知及技) What do you ~?, 動詞の-ing 形, want to ~ を使った会話から, 週末にすること, 好きなこと, したいことを正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) 友達の夏休みの過ごし方を知るために, 夏休みにしたいことについて適切な質問をしてアンケートを取っている。</p> <p>(学・人) 登場人物の夏休みの過ごし方を知るために, インタビューからその人物が夏休みにしたいことを聞き取ろうとしている。</p>	<p>(知・技) What do you ~? の構文, 動詞の-ing 形, want to ~ の表現について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 登場人物の夏休みの過ごし方を知るために, インタビューからその人物が夏休みにしたいことを聞き取り, 適切に理解している。</p> <p>(主学) 友達の夏休みの過ごし方を知るために, 積極的に質問を続けながらアンケートを取ろうとしている。</p>	<p>Unit 3 「Enjoy the Summer」</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューから, したいことなどを聞き取ることができる。 夏休みにしたいことについて, アンケートを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーの話題を予測し, おおまかな内容をつかむ。 本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 <p>① What do you ~ ? ② 動詞の ing 形 ③ want to ~ を使った文を聞いた, 話したり, 書いたりする。</p> <p><Goal> 夏休みにしたいことのアンケートを取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューからその人物がしたいことなどを聞き取ったり, 夏休みにしたいことについてアンケートを取ったりする。
--	--	--	--	--

2 学 期	<p>(知及技) 3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? を使った会話から, 人についての情報を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) 友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介して, Who's this? クイズを出題している。</p> <p>(学・人) 人物をどのように紹介しているかを知るために, 会話から人物の基本的な情報を聞き取り, メモを取ろうとしている。</p>	<p>(知・技) 3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? の構文について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 人物をどのように紹介しているかを知るために, 会話から人物の基本的な情報を聞き取り, 適切にメモを取っている。</p> <p>(主学) その人物が誰か友達が分かるように, 紹介の仕方を工夫しようとしている。</p>	<p>Unit 4 「Our New Friend」</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物紹介から, 基本的な情報を聞き取ることができる。 身近な人などについて, 基本的な情報を紹介することができる。 You Can Do It! 1 「自己紹介で共通点・相違点を見つけよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーの話題を予測し, おおまかな内容をつかむ。 本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 <p>① He/She is ~. ② Who's ~ ? ③ Is he/she ~? を使った文を聞いた, 話したり, 書いたりする。</p> <p><Goal> 誰のことを当てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物紹介から基本的な情報を聞き取り, メモを取る。 紹介する人物の情報をまとめ, グループで Who is this? クイズをする。 <p>・自分のことを知ってもらうために ALT に積極的に自己紹介をする。</p>
	<p>(知及技) where や when で始まる疑問文や命令文を使った会話から, 場所や時間を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の学校のよいところを知るために, お気に入りの校内施設について適切にたずね合っている。</p> <p>(学・人) 学校公開の案内状から必要な情報を読み取ろうとしている。</p>	<p>(知・技) where や when で始まる疑問文や命令文について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 学校公開の日程や注意事項を知るために, 案内状から必要な情報を読み取り, 適切に理解している。</p> <p>(主学) お気に入りの校内施設について積極的にたずね合おうとしている。</p>	<p>Unit 5 「This Is Our School」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校公開の案内状から, 時間や場所などを読み取ることができる。 お気に入りの学校内の施設について, たずね合うことができる。 <p>Daily Life 2 「落とし物」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーの話題を予測し, おおまかな内容をつかむ。 本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 <p>① Where で始まる疑問文 ② 命令文 ③ 疑問詞 when を使った会話を聞いた, 話したり, 書いたりする。</p> <p><Goal> 学校内を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校公開の案内状を読んで内容を理解する。 お気に入りの校内施設について友達とたずね合う。 <p>・ALT やペアと, 落とし物の種類や見つけた場所を変えて, オリジナルのやり取りを考えて演じる。</p>

18	<p>(知及技) 3人称単数を主語とする一般動詞の文を使った話や会話から、身近な人などの情報を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) クラスの友達に紹介するために、適切な組み立てと表現で自分の身近なすてきな人を紹介する文を書いている。</p> <p>(学・人) 誰を紹介しているかを知るために、紹介文を読んで内容を理解しようとしている。</p>	<p>(知・技) 3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 誰を紹介しているかを知るために、紹介文を読んで内容を適切に理解している。</p> <p>(主学) クラスの友達にその人のよさが伝わるように、紹介文を書こうとしている。</p>	<p>Unit 6 「Cheer Up, Tina」</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 身近な人の基本的な情報を伝える、紹介文を書くことができる。 <p>You Can Do It!2 「ドリームファミリーを紹介しよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 3人称単数を主語とする一般動詞の ①肯定文 ②疑問文 ③否定文を使った会話を聞いたり、話したり、書いたりする。 <p><Goal>身近にいるすてきな人を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が書いた紹介文を読んで、誰のことを紹介しているか考えたり、質問に答えたりして内容を理解する。 クラスの友達に向けて、身近なすてきな人を紹介する文を書く。 <ul style="list-style-type: none"> オリジナルの「ドリームファミリー」を作成し ALT やクラスに紹介する。
20	<p>(知及技) 一般動詞や be 動詞の過去形を使った話や会話から、したことや感想を正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) ALT に冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことや感想をはがきに書いている。</p> <p>(学・人) 登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解しようとしている。</p>	<p>(知・技) 一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) 登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想などを読み取るとともに、はがきの書き方を理解している。</p> <p>(主学) 冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想をはがきに書こうとしている。</p>	<p>Unit 7 「New Year Holidays in Japan」</p> <ul style="list-style-type: none"> はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 冬休みの出来事や感想などを伝える、はがきを書くことができる。 <p>Daily Life 4 「ウェブサイト」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 <p>① 一般動詞の過去形 ② 一般動詞の過去形の疑問文や否定文③be 動詞の過去形を使った文を聞いたり、話したり、書いたりする。</p> <p><Goal>冬休みの楽しい出来事を伝える登場人物のはがきから出来事と感想を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取り ALT と話合うことができる。

3 学期	<p>(知及技) 現在進行形の肯定文、疑問文や look + 形容詞を使った会話から、人がしていることや感想などを正確に聞き取ることができる。</p> <p>(思判表力) 自分が選んだ写真について伝えるために、その場の状況を説明する写真のキャプションを適切な表現を使って書いている。</p> <p>(学・人) どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取ろうとしている。</p>	<p>(知・技) 現在進行形の肯定文、疑問文と look + 形容詞について正確に理解している。</p> <p>(思・判・表) どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>(主学) 自分が選んだ写真について伝えるために、その場の状況を説明する写真のキャプションを適切な表現で書こうとしている。</p>	<p>Unit 8 「Getting Ready for the Party」</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 写真に、状況を説明するキャプションを書くことができる。 <p>Daily Life 5 「ラジオの中継」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 <p>① 現在進行形の肯定文 ② 現在進行形の疑問文 ③ look+形容詞を使った文を聞いたり、話したり、書いたりする。</p> <p><Goal>アルバムの最後のページを作ろう・パーティーの写真の説明から、その場の状況を聞き取り、ふさわしい人物の絵を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後のページに載せたい写真のキャプションを書き、グループでその中からふさわしい写真を選ぶ。 ラジオの中継を聞いて、どこから何をリポートしているか聞き取り ALT と話し合うことができる。
留意点引 継ぎ等				

令和5年度 道徳年間指導計画案 第1学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等	
4月 (3時間)	1	サッカーの漫画を描きたい	A-(4)	希望と勇気, 克己と強い意志	困難を乗り越える力	夢をもつことの大切さに気づき, 目標に向かい希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。 ◎日常生活のほんの小さな目標であっても, それが達成できて満足した経験はないか。 ◎きっかけはなんであれ, 将来の目標を決めた高橋さんはどんな気持ちだっただろう。 ◎漫画家への道は順調に進んだのだろうか。 ◎漫画を描くうえでのさまざまな困難にも負けず, 高橋さんはなぜ努力できたのだろう。 ◎努力は簡単にできることだろうか。努力をするために大切なことはなんだろう。	□困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く意志の大切さに気づき, 自分の生活の中で夢や目標をもって取り組もうとする, 意欲的な発言や記述が見られたか。 ◇発問構成によって, 自分のこととして深く考えさせることができたか。	美術, 保健体育, 総合的な学習の時間, 特別活動
	2	挫折から希望へ	D-(22)	よりよく生きる喜び	弱さを乗り越え生きる	人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることを理解し, よりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。 ◎何かに行き詰まり, 諦めてしまったことはないか。 ◎次々と受けるコンクールに落ちていったとき, 千住さんはどんな思いだっただろう。 ◎父の言葉を聞いて, 千住さんはどんなことを考えただろう。 ◎千住さんが涙を流して言った「ありがとうございます。」には, どんな意味が込められているのだろう。 ◎誰にでも弱さがあるけれど, 弱さを乗り越え生きていくために大切なことはなんだろう。	□自分の弱さを克服してよかった, これからもよりよく生きていこうといった発言や記述が見られたか。 ◇千住さんの生き方をしっかりと考えさせることで, 弱さを克服する生き方について深まりのある生徒の考えを引き出すことができたか。	音楽, 特別活動
	3	人のフリみて	B-(6)	思いやり, 感謝	ありがとうの力	日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの善意や思いやりに気づき, 自分の感謝の気持ちを素直に表そうとする心情を育てる。 ◎最近, 誰かに「ありがとう。」と言った経験はあるか。 ◎みんなが「ありがとう。」と言うとき, どんな思いから言っているのだろう。 ◎自分はお金を払っていて, 相手も仕事であるのに, わざわざ「ありがとう。」を伝えるのはなぜだろう。 ◎自分に向けた「ありがとう。」ではないのに, みつはしさんが爽やかな気持ちになったり, まねしたいと思ったりしたのはなぜだろう。 ◎「ありがとう。」の言葉は, 私たちにどんな不思議な力を与えてくれるだろう。 ◎「ありがとう。」の気持ちを家族などの周りの人にどうやって伝えたらよいだろう。	□自分の周りにはさまざまな支えが存在していることに気づき, それをあたりまえと思わないことや, 感謝の気持ちを素直に表現することが大切であるといった発言や記述が見られたか。 ◇発問や板書から, 多面的・多角的な思考をもとに道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めさせることができたか。	国語, 総合的な学習の時間
5月 (3時間)	4	「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7)	礼儀	礼儀の心	あいさつの意義などを主体的に考え理解し, 時, 場所, 場面に応じて適切な言動をしようとする態度を育てる。 ◎あいさつをするとき, 気をつけていることはあるか。 ◎二人組になって, 「おはようございます。」と言ってみよう。言われた人はどんな気持ちでしたか伝え合おう。 ◎「あいさつの有無でずいぶんと気分が変わる」のはどうしてだろう。 ◎「あいさつって, 言葉のスキンシップになるんです。」とはどういうことか考えてみよう。 ◎「おはようございます。」のあとに, どんなことを言えばよいか考えて, みんなの前で演技してみよう。 ◎あいさつは どうして大切なのか, あらためて考えてみよう。 ◎あいさつについて, これからどんなことを大切にしていきたいか, まとめてみよう。	□あいさつが人間関係や社会生活を円滑にするものであることを理解し, 時, 場所, 場面に応じた言動をしようとする発言や記述が見られたか。 ◇発問構成や体験的な活動によって, 主体的にあいさつをする大切さについて考えさせることができたか。	国語, 総合的な学習の時間, 特別活動

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等	
6 月 (4 時間)	5	さかなのなみだ	C-(11) 公正, 公平, 社会正義	いじめのない集団	同調圧力などに屈することなく, 自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。 ◎さかなくんが, 中学生のときいじめに接した経験から考えたことは, どんなことだろう。 ○いじめのない集団にするためには, どんなことを大切にしなければならないだろう。	○学級の中でいじめが起きているとしたら, あなたはどう思うか。 ○「小さな学校やせまい社会のなかにもいじめがある」とあるが, あなたはそれをどう思うか。 ○「ほっとした表情」とあるが, いじめられていた子はどんな気持ちになったのだろう。 ◎さかなくんが, 中学生のときいじめに接した経験から考えたことは, どんなことだろう。 ○いじめのない集団にするためには, どんなことを大切にしなければならないだろう。	□人間としてよりよい集団を築くために, いじめなどを見て見ぬふりをせず, 積極的に正義や公正を実現しようとする発言や記述が見られたか。 ◇話し合いや発問などから, いじめの問題を多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	特別活動
	6	近くにいた友	B-(8) 友情, 信頼	心から信頼できる友達	互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し, いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。 ◎雄一から話を聞いたオサムは, 信也の家に向かう途中, どんなことを考えていただろう。 ○お互いに心から信頼できる友達になるためには, どんなことが必要だろう。	○あなたにとって, 友達はどんな存在か。 ○オサムは, 家に帰ってスマホを見たとき, どんなことを考えただろう。 ○信也とオサムが話す場面を, みんなの前で演技してみよう。 ○演技のあと, 感想や意見を発表し合おう。 ◎雄一から話を聞いたオサムは, 信也の家に向かう途中, どんなことを考えていただろう。 ○お互いに心から信頼できる友達になるためには, どんなことが必要だろう。	□互いに心から信頼できる友情を築き, いっそう友達を大切にしたいという発言や記述が見られたか。 ◇体験的な活動をとおして, 心から信頼できる友達とは何かを深く考えさせることができたか。	技術・家庭, 特別活動
	7	トマトとメロン	A-(3) 向上心, 個性の伸長	個性を大切に	自己を見つめてそのよさに気づき, 個性を生かして前向きに生きていこうとする態度を育てる。 ◎この詩をとおして, 相田さんは私たちにどんなことを伝えたかったのだろう。 ○自分の個性を生かして生きるためには, どんなことが大切だろう。	○なぜ, トマトとメロンを比べてもしょうがないのだろう。 ○「いのちを百点満点に生きる」とはどういうことを言っているのだろう。 ◎この詩をとおして, 相田さんは私たちにどんなことを伝えたかったのだろう。 ○自分の個性を生かして生きるためには, どんなことが大切だろう。	□発言や記述から, 自己を見つめ, 自らのよさに気づき, これからの生き方の中でそれを伸ばしていこうとする気持ちをもって, また, 自らの体験を振り返りながら考えを深める様子が見られたか。 ◇相田みつをさんの生き方や考え方を通じて, 世間や栄誉にとらわれないで自己を磨こうとする大切さを考えさせることができたか。	国語, 特別活動
8	ばあば	D-(19) 生命の尊さ	ともに生きる	生命は連綿とつながっており, 関わり合い支え合ってきたことを深く自覚するとともに, 与えられた生命をせいっぱい生きようとする態度を養う。 ◎「僕」たちは, 「ばあば」から何をもらっていたのだろう。 ○ともに生きることの意味について, 考えてみよう。	○祖父母や曾祖母と同居している人はいるか。 ○足腰が弱らないように「ばあば」がトレーニングしていることを知ったとき, 「僕」はどんなことを考えただろう。 ○「ばあば」が, 「死んだ子どもとじいちゃんのところへ, はよう行きたい」と言ったとき, 「僕」はどんな気持ちだっただろう。 ◎「僕」たちは, 「ばあば」から何をもらっていたのだろう。 ○ともに生きることの意味について, 考えてみよう。	□生命が関わり合い支え合ってきたことを自分なりに考え, 自他の生命を尊重してせいっぱい生きたいといった発言や記述が見られたか。 ◇「僕」が「ばあば」から何をもらっていたのかをじっくり考えさせることができたか。	保健体育, 総合的な学習の時間, 特別活動	
9	ふれあい直売所	C-(10) 遵法精神, 公德心	きまりを守る社会	きまりの意義を理解し守ることで, 自他の権利を重んじ, よりよい社会をつくろうとする実践意欲を育てる。 ◎「私」の「もやもやした気持ち」が一気に晴れたのはどうしてだろう。 ○きまりを守る社会を実現するためには, どんなことを大切にしていけばよいだろう。 ○学習をとおして何か新しい気づきはあったか, 教材を読む前と今の考えを比べてみよう。	○みんながきまりを守るのはどうしてか。 ○「私」はどのような思いで直売所に野菜を出しているのだろう。 ○「私」が妹の言葉にもやもやしたのはなぜだろう。 ◎「私」の「もやもやした気持ち」が一気に晴れたのはどうしてだろう。 ○きまりを守る社会を実現するためには, どんなことを大切にしていけばよいだろう。 ○学習をとおして何か新しい気づきはあったか, 教材を読む前と今の考えを比べてみよう。	□よりよい社会の実現のために進んできまりを守ろうとする発言や記述が見られたか。 ◇生徒の課題意識や発言などを肯定的に受容し, 生かしながら授業を展開できたか。	社会, 技術・家庭, 特別活動	

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等		
	10	あったほうがいい？	C-(12)	社会参画, 公共の精神	よりよい社会のために	身近なゴミ問題を考え話し合うことをとおして, 社会に尽くす公共の精神について深く考え, よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。	○靴にガムがくっついた経験や, 街中で散らかったゴミを見た経験はあるか。 ○「あったほうがいい？」では何が問題になっているのか, 考えてみよう。 ○誰もが街をきれいにしたいと思っているはずなのに, ゴミ問題が起こるのはなぜだろう。 ◎ゴミ問題を解決するためには, どんな考え方が大切だろう。グループで話し合おう。 ○街をきれいにするためにどうすればよいか, どんな心構えが大切かまとめてみよう。	□身近にあっても解決が一筋縄ではいかない現代的な問題に対し, よりよい社会の実現をめざして, 具体的な解決を自分なりに考えようとする意欲が発言や記述に見られたか。 ◇智子の心の迷いを追うのではなく, 問題解決に向かう意志や実行への思いを促す授業構想であったか。	社会, 特別活動
7月 (2時間)	11	疾走, 自転車ライダー	A-(2)	節度, 節制	安全への心構え	身近に起こり得る交通事故をもとに, 安全や危機管理の大切さを理解し, 安全で調和のある生活を送ろうとする実践意欲を育てる。	○これまでに, 事故やけがで「ひやりとした」経験はないか。なぜそうなったのだろう。 ○犬を連れのおじさんの横をすり抜けるとき, 行雄はどんな気持ちだっただろう。 ○行雄は, 猫が飛び出したせいで事故が起こったと言うが, あなたはどう考えるだろう。 ◎事故までのことを振り返り, 行雄の言う「安全運転」について, あなたはどう考えるだろうか。 ○自分の身近にある「安全」について, あらためて考えてみよう。	□日常の安全や防災への意識をあらためて捉え直そうとする発言や記述が見られたか。 ◇自分のことだけでなく, ほかの人の安全や命を守るという視点で, 多面的・多角的に考えさせることができたか。	保健体育, 特別活動
	12	花火に込めた平和への願い	C-(18)	国際理解, 国際貢献	世界平和のために	国際的視野に立って, 他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに, よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする態度を育む。	○このアリゾナ記念館は, なぜあるのだろう。 ○ホノルルに着いたとき, ゆかりはどんな気持ちだっただろう。 ○事前学習のとき, ゆかりはどう感じただろう。 ○ガイドさんたちと接することで, ゆかりの心はどのように変化してきたのだろう。 ○「未来を見つめて」というガイドさんの話から, ゆかりはどんなことを考えたのだろう。 ◎日本と世界の平和のために, ゆかりにできることはなんだろう。 ○世界平和のために, 自分に何かできることはないか考えてみよう。	□他国の文化や伝統などを尊重し, 国際的視野に立って, 世界平和と人類の発展に寄与しようとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などから, ゆかりの気持ちの変化を捉えさせ, 平和の尊さと国際貢献について考えさせることができたか。	国語, 社会, 外国語, 総合的な学習の時間
9月 (4時間)	13	部活の帰り	B-(8)	友情, 信頼	心がときめくとき	異性についての理解を深め, 互いに相手の人格を尊重しながら接しようとする実践意欲を育てる。	○横断歩道の所でK子に気づいた「僕」は, どんな気持ちだっただろう。 ○「僕の出番だ。」と思いつつも, 「僕」がためらったのはなぜだろう。 ○キザな男と思われたくないにもかかわらず, どうして「僕」はとっさに横断歩道のボタンを押したり, バスを引き止めたりしたのだろう。 ◎K子が「僕」の方を見てニコッと笑ったとき, 「僕」はどんなことを考えただろう。 ○異性に対して, 人として互いに理解し合いたいと思うことは, どんなことか考えてみよう。	□一方的な関心や憧れでなく, 相手の心や思いを素直に受け止め, 一人の人間として互いの人格を尊重し合う関係を築くことが大切であるといった発言や記述が見られたか。 ◇発問や板書などから, 多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	保健体育, 特別活動

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等
	14	私らしさって？	A-(1) 自主, 自律, 自由と責任	自分の意志で	周囲の目に惑わされず, 自分の中にある自主性を大切に, 自分で決め, 考え, 行おうとする実践意欲を育てる。 ◎「ユウコらしくないよ。」という言葉を出しながら, ユウコはどんなことを考えただろう。 ◎自分が変わっていくように感じたとき, あらためて考え直したいことはどんなことだろう。 ◎「自分らしい」とはどういうことか, 意見交流してみよう。	□「自分らしさ」とは何かを考え, 人間として成長していくために, 自主的に考え, 判断し, 行動しようとする意欲が発言や記述に見られたか。 ◇生徒自身の経験と結びつけてユウコの思いを共有させ, 「自分らしさ」のある言動について具体的に考えさせることができたか。	特別活動
	15	むかで競走	C-(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実	みんなをまとめる力	学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し, 協力し合って学校生活を充実させようとする実践意欲を育てる。 ◎拓也が「その場から動けなかった」のは, どうしてだろう。 ◎学級のみんなはなぜゴールに走り寄ったのだろう。また, そのとき拓也はどんな気持ちで一宏に声をかけたのだろう。 ◎リーダーを務めるとき, 求められるのはどんなことだろう。	□学級や学校の一員としての責任を考え, 集団の質を高めながらよりよい学校生活を送ろうとする発言や記述が見られたか。 ◇競技の勝ち負けを超えて, お互いを大切にし, 力を合わせて集団で取り組むことの意味について考えさせることができたか。	特別活動
	16	震災を乗り越えて—復活した郷土芸能—	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	郷土芸能を伝える	郷土によって育まれてきた伝統と文化のよさを理解し, 郷土への誇りや愛着をもち, 郷土に対して主体的に関わろうとする実践意欲を育む。 ◎どんな伝統芸能を知っているか。 ◎長谷川さんや長洞くんは, どうして郷土芸能を復活させたかったのだろう。 ◎大きな拍手が沸き起こったとき, 生徒のみんなはどんな気持ちだっただろう。 ◎長洞くんが, 後輩たちに「郷土芸能を自分たちの手で伝えてほしい」のはどうしてだろう。 ◎あなたの住んでいる地域には, どんな郷土芸能があるだろうか。それにはどんな意味があるのだろうか。	□地域に伝えられてきた伝統と文化を, 自分たちが受け継いでいくことが大切であるといった発言や記述が見られたか。 ◇発問などから, 自分自身との関わりの中で深く考えさせることができたか。	社会, 総合的な学習の時間
10月 (4時間)	17	使っても大丈夫？	C-(10) 遵法精神, 公德心	自他の権利と法の遵守	法やきまりの意義を理解し, 自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。 ◎事例1~3について, 使っても大丈夫か, 問題があるとすればなんだろう。それはなぜか話し合ってみよう。 ◎事例1~3とは逆に, 事例4のように自分が描いた絵を無断で使われたらどう思うだろう。 ◎著作権法などの法律は, なぜあるのだろう。また, 社会でどんな役割を果たしているのか考えよう。 ◎義務で守っているルールほかに, 自ら「尊重したいから守る」と考えているルールはないだろうか。	□法やきまりが社会でどんな役割を果たしているかを考え, 自他の権利を重んじる自覚が発言や記述に見られたか。 ◇話し合いや発問などから, 多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	技術・家庭
	18	公平と不公平	C-(11) 公正, 公平, 社会正義	公平とは何か	公平性を保つための判断基準をもつ大切さを理解し, 差別や偏見のない社会を築こうとする判断力を養う。 ◎公平や不公平を感じるのはどんなときか。 ◎グループになって, A, B, C の中から話し合う事例を決めよう。 ◎話し合う事例について, それが公平かどうか, その判断の理由とあわせて考えよう。 ◎上で考えたことをグループで話し合おう。 ◎公平か不公平かを判断するとき, 大切にしなければならないことはなんだろう。学級全体で話し合おう。 ◎不公平は, どのようにすれば解決していけるか, 自分の考えをまとめてみよう。	□友達の意見を聞きながら, 公平性の判断基準について主体的に考えている様子が見られたか。 ◇相手の立場になって考えさせるなど, 多面的・多角的に考えさせることができたか。	社会, 総合的な学習の時間, 特別活動

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等
	19	違いを乗り越えて	C-(18) 国際理解, 国際貢献	多文化の理解を深める	日本の習慣や文化のよさを理解するとともに, ほかの国々の人々や文化に対する理解を深め, 尊重しようとする実践意欲を高める。 ◎「大切なのは気持ち」だと気づいた「私」は, どんなことを考えたのだろう。 ◎私たちが他国の人と接するとき, どんなことを大切にしていけばよいだろう。	□困難があっても, お互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことが大切であるといった発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などから, 多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	社会, 外国語, 総合的な学習の時間
	20	あふれる愛	D-(19) 生命の尊さ	生まれてきた大切な生命	生命の連続性や有限性を理解し, この世に生まれてきたすべての生命を尊重しようとする態度を育てる。 ◎「愛」とはなんだと思うか。 ◎赤ん坊が捨てられたり, 生きているのに見捨てられた人々が路上にあふれたりしている様子を思い浮かべて, あなたはどんなことを思うか。 ◎院長の心を動かしたのはなんだと思うか。 ◎マザー・テレサは, どうしてこれほど真剣に老婆を助けたいと思うのだろう。 ◎生まれてきた大切な生命について, 考えたことをまとめてみよう。	□死を待つ人々でさえも救おうと懸命に頑張るマザー・テレサの姿に共感する発言や記述が見られたか。また, そこから生命の重さを見つめ, 大切にしようとする姿勢が見られたか。 ◇自分の生命について, 「生かされている」など, 新たな気づきを促すことができたか。	社会, 外国語, 総合的な学習の時間, 特別活動
11月 (4時間)	21	富士山から変えていく	C-(12) 社会参画, 公共の精神	つながりが生み出す力	社会連帯の自覚を深め, 一人ひとりが協力し, よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。 ◎富士山に対して抱いているイメージを3つ書こう。 ◎「富士山から変えていく」を読んで, 心に最も強く残った部分を理由も含めて考えよう。 ◎野口さんが指摘する現実の富士山の姿をグループで出し合おう。 ◎「自分たちの力で, この状況を変えていく。」と意識し行動することを, 野口さんはなぜ大切にするのだろう。 ◎みんなが力を合わせることで, 変えられることはないだろうか。	□よりよい社会を実現するためには, 一人ひとりの意識を高め, 力を合わせて行動に移すことが大切だという思いが発言や記述に見られたか。 ◇今ある社会をよくするために, 自分にはどんな貢献ができるか, 実践意欲や態度に通じる思考を促すことができたか。	社会, 理科, 特別活動
	22	木の声を聞く	D-(20) 自然愛護	自然を愛する	自然の生命力と崇高さを知り, 自然に謙虚に向き合いながら自然の愛護に努めようとする実践意欲を育てる。 ◎自然のものをみて「美しいなあ！」と感動した体験, 自然の神秘に触れた体験を思い出してみよう。 ◎「木を救う仕事ではなく, その木に宿る生命力を高めるための手伝いをしているだけ」と塚本さんが思うようになったのはなぜだろう。 ◎塚本さんが, この大藤は移植できる, と確信できたのはどうしてだろう。 ◎樹木に祈りをささげ, その声に耳を澄ます, 塚本さんの姿に何を学ぶことができるだろう。 ◎自然と人間が共生するために, できることを考えてみよう。	□生徒の発言や記述に, 人間が上からの立場で自然を保護しようとするのではなく, 自然の恵みをもって生かしていただいているという塚本さんの考えに共感し, 自然を守ることを意味を考え, 自ら自然を愛護しようという意欲的な態度が見られたか。 ◇話し合いや書く活動などから, 自然の一部としての人間という認識や自然への謙虚な態度を育てることができたか。	社会, 理科, 総合的な学習の時間, 特別活動
	23	バスと赤ちゃん	B-(6) 思いやり, 感謝	社会の中の思いやり	多くの人々の善意により社会生活が成り立っていることに感謝し, 人間愛の精神をもって思いやりの心を能動的に示そうとする態度を育てる。 ◎赤ちゃんに対してどんなイメージをもっているか。 ◎どうしてお母さんは「ここで降ります。」と言ったのだろう。 ◎バスの運転手さんが乗客に伝えたかった思いはなんだろう。その思いは, なぜ乗客に伝わったのだろう。 ◎最初に拍手をした人と運転手さんの共通点はなんだろう。 ◎この光景は, どうして「私」の大切な思い出になったのだろう。 ◎社会の中で思いやりが求められる状況で, 自分はどう対応しようと思うか, 想像してみよう。	□人間愛の精神をもって思いやりの心を示そうとする発言や記述が見られたか。 ◇発問構成の工夫によって, 自分自身との関わりの中で深く考えさせることができたか。	社会, 技術・家庭, 総合的な学習の時間

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (口ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等		
	24	家族と支え合うなかで	C-(14)	家族愛, 家庭生活の充実	支え合う家族	父母, 祖父母に対する敬愛の念を深め, 家族の一員として協力し合って生活しようとする態度を育む。	○「私」が逃げてしまったのは, どんな気持ちからだろう。 ○母の話聞いて, 「私」の心はどのように変わったのだろう。 ○老人ホームへの訪問をとおして, 「私」はどんなことを考えただろう。 ◎「私」が祖母の世話をすることは, 家族にとってどんな意味があるのだろう。 ○家族のつながりをより深めるためには, どんなことが大切だろう。	□家族から受けている無償の愛情や激励に気づき, 家族の一員として協力していこうとする意欲が発言や記述に見られたか。 ◇生徒の家族関係の多様性に配慮しつつ, 家族の大切さに気づかせることができたか。	美術, 技術・家庭
12月 (2時間)	25	私は清掃のプロになる	C-(13)	勤労	心がこもった仕事	働くことを通じて, 喜びや生きがい, 社会とのつながりを実感し, 社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。	○新津さんは日本へ来たとき, どのような気持ちだったのだろう。 ○新津さんはどんな思いで, 学校以外の時間や就職したあとも清掃の仕事が続けてきたのだろう。 ◎新津さんが, 恩師に「あなたの清掃には心がこもっていない。」と言われたのはなぜだろう。 ○心がこもった仕事とは, どんなものだろう。	□勤労をとおして社会とのつながりを感じ, 社会に貢献しようとする意欲が発言や記述に見られたか。 ◇小グループでの話し合いをとおして, 多様な意見に触れさせることができたか。	総合的な学習の時間
	26	奈良筆に生きる	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	伝統を守る	日本人としての自覚をもって我が国の優れた文化を継承し, その創造に貢献しようとする態度を育てる。	○奈良筆についてどんな感想をもったか。 ○「この頃の奈良筆は, 質が落ちた。」という話を耳にしたとき, 史峰はどんなことを決心したのだろう。 ○史峰は, なぜ筆ペンの出現を不安に思ったり, 奈良筆の伝統工芸後継者を求めて走り回ったりしたのだろう。 ◎史峰は, 仕事場に掲げた「一を以て之を貫く」という書を見ながら何を思ったのだろう。 ○伝統や文化を継承していくために必要なことはなんだろう。	□史峰の生き方に触れることにより, 日本の伝統や文化を大切にし, 日本人として誇りをもって生きようという発言や記述が見られたか。 ◇実物や動画などを組み合わせて提示することにより, 日本文化の素晴らしさに気づかせることができたか。	国語, 社会, 総合的な学習の時間
1月 (3時間)	27	ゆうへー生きていてくれてありがとうー	D-(19)	生命の尊さ	つながる生命	多くの人々の支えによって生きていくことで, 誰もがかけがえのない存在であると理解し, 互いの存在を大切にしようとする心情を育む。	○「1.17 希望の灯り」はなんの火だと思うか。 ○突然の地震に, しょうくん, ゆうちゃんの母であるたかいさんは, どんな気持ちになっただろう。 ○たかいさんはどんな思いから, しょうくんのもとには行かず, ゆうちゃんと一緒に生きることを選択したのだろう。 ◎「生きていてくれてありがとう」という言葉には, たかいさんのどんな思いが込められているのだろう。 ○人とつながって生きている自分を, あなたはどう考えるだろうか。	□生きていることがあたりまえではないことに気づき, 生命のつながりや支え合いに関する発言や記述が見られたか。 ◇たかいさんや家族の思いを考えさせることをとおして, 周りの人々の思いの上に自分が生きていることを考えさせることができたか。	社会, 理科, 保健体育, 総合的な学習の時間
	28	旗	B-(8)	友情, 信頼	友達のよさ	友情の尊さを理解するとともに, 真の友情を築くために, 互いに信頼し, 励まし合おうとする心情を育てる。	○今までに, 友情を感じたことはあるか。 ○レモンいろの旗を見た少女は, どんなことを思ったのだろう。 ○友だちに自分の思いを話す少女は, どんな気持ちだろう。 ◎クラス旗(パッチワークの旗)がひるがえっているのを見た少女は, どんなことを思っただろう。 ○友達に支えられていると思うことは, どんなことだろう。	□自分にも友達を励まし支えていくことができると気づき, また, それに応えようとする双方向の大切さを捉えた発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などによって, 生徒自身の経験を踏まえて, 少女と友だち相互の視点から深く考えさせることができたか。	数学, 特別活動
	29	自分だけ「余り」になってしまう……	B-(9)	相互理解, 寛容	お互いを認め合う	いろいろなものの見方や考え方があることに気づき, 寛容の心をもって謙虚に他者から学ぼうとする態度を育てる。	○今まで自分だけ「余り」になって困ったことはなかったか。そのときどんな気持ちだったか。 ○好美さんの悩みを整理しよう。 ○重松さんは, 「ひとりになる」ことについて, どんな捉え方をしているのだろう。 ◎「余りの一人」を分かち合うとは, どういうことだろう。また, 分かち合うときには何が大切だろう。グループで話し合おう。 ○お互いに認め合って生きていくために, 大切なことを考えてみよう。	□問題解決的な学習をとおして, 「余り」をつくらない生き方のために, 互いの存在を認め尊重し合うことが大切だといった発言や記述が見られたか。 ◇問題解決的な学習を円滑に展開し, 話し合いを深めることができたか。	数学, 特別活動

月	教材名		内容項目		主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等
2月 (4時間)	30	オーロラ—光のカーテン—	D-(21)	感動, 畏敬の念	自然に感動する心	人間の力を超えた自然の素晴らしさに素直に感動し, 自然の中で生かされていることを自覚して, 自然を敬おうとする心情を深める。	○今までに自然の雄大さに感動した経験はあるか。 ○なぜ吉沢さんはオーロラを見るために, 毎年のようにカナダを訪れてきたのだろう。 ○吉沢さんが驚き, 腰を抜かしそうになりながら, オーロラを見上げる気持ちを想像してみよう。 ○なぜ吉沢さんはオーロラに対して口笛を吹いたり, 手をたたいたりするのだろう。 ◎仰向けで空を見上げていたときの吉沢さんは, どんな気持ちだっただろう。 ○雄大な自然を前に, 今, 自分にできることはなんだろう。	□オーロラの美しさや神秘さを, 自分の自然体験と比べながら感じ, 自然に対する畏敬の念をもち, 自然から学ぼうとする様子が見られたか。 ◇オーロラの写真や動画などの視聴覚教材を見せることで, 自然の神秘を感じさせながら考えを深めさせることができたか。	社会, 理科, 総合的な学習の時間, 特別活動
	31	裏庭でのできごと	A-(1)	自主, 自律, 自由と責任	誠実な生き方	誠実さは自分の弱さから逃げない心や誇りから生まれることを理解し, 自分の行動に責任をもち, 自らを律し, 誠実に生きようとする判断力を育てる。	○「誠実な生き方」と聞いて, どんな生き方を思い浮かべるか。 ○大輔から「俺を出し抜いて先生のところになんか行くなよ。」と言われたとき, 健二はどんなことを考えていただろう。 ○健二は家に帰ってから, どんなことを考えていただろう。 ◎次の日, 健二を職員室へ向かわせたものはなんだったのだろう。グループで話し合おう。 ○自分で自分の態度を決めなければならないとき, 考えなければならないことは何かをまとめてみよう。	□誠実な生き方を支える逃げない心や自分の誇りに気づき, 自らも誠実に生きようとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などによって, 生徒自身の体験と重ねながら健二の決断を支える道徳的価値について考えさせることができたか。	総合的な学習の時間, 特別活動
	32	役に立つことができるかな	C-(13)	勤労	働くことの尊さ	社会に存在する職業それぞれの尊さや意義を理解し, 将来, 働くことで社会に貢献しようとする態度を育成する。	○働く人の姿から, どんなイメージが浮かぶか。 ○職場体験に向かう「僕」たちがワクワクしているのはどうしてだろう。 ○体験前に「僕」が思っていた, 消防士の仕事への「カッコいい」というイメージは, 体験後どう変化したのだろう。 ○帰りの電車の中で男の子を落ち着かせた先生の姿から, 「僕」はどんなことを考えたのだろう。 ◎「僕」が「社会の役に立つ職業に就きたい。」と決意したのは, どんな思いからだろう。 ○社会で働く意義について考えてみよう。	□勤労の尊さを重んじる生き方をもとに, 社会における自らの役割や将来の生き方に関して, 発言や記述が見られたか。 ◇「僕」の職業観と勤労観に対する変容を追いながら深く考えさせることができたか。	社会, 総合的な学習の時間
	33	緑のじゅうたん	A-(5)	真理の探究, 創造	理想に向かって	現実を謙虚に受け止め, 探究心をもって努力と工夫を重ねて理想を実現しようとする実践意欲を育てる。	○国立競技場の芝は, なぜ冬でも青々としていると思うか。 ○鈴木さんが国立競技場のグラウンドに感動して就職を決め, 働き始めたとき, どんなことを考えていただろう。 ○イングランドの監督から冬の芝が黄色いことを指摘されたとき, 鈴木さんはどんなことを考えていただろう。 ◎鈴木さんが, 冬でも青々とした芝を作り続ける努力をしたのは, どんな思いからだろう。 ○自分の理想を求めるために, 鍵になるのはどんなことだろう。	□実現したいと思う理想を見つけようとする, 前向きな発言や記述が見られたか。 ◇鈴木さんの生き方を手がかりに, 自己の生き方に対する考えを深めさせられたか。	理科, 保健体育, 総合的な学習の時間, 特別活動
3月 (2時間)	34	「肝心」のバスガイド	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	ふるさとへの思い	先達のおかげで今の暮らしを営めることへの尊敬の念や感謝の気持ちを深め, 主体的に郷土に関わろうとする態度を育てる。	○「沖縄観光」と聞いて思い浮かぶものはなんだろう。 ○場面を整理しよう。 ○「肝心」とは, 具体的にどんな気持ちを表した言葉だろう。 ◎崎原さんの行動を支えているものはなんだろう。 ○自分のふるさととの向き合い方を考えてみよう。	□自分のふるさとに対する再認識や, それを未来へ伝えていく大切さ, 郷土の発展のために何ができるかなどに関する発言や記述が見られたか。 ◇問い返しの発問などから自分自身との関わりの中で考えさせることができたか。	社会, 音楽, 総合的な学習の時間

月	教材名		内容項目		主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	各教科等
	35	いつわりのバイオリン	D-(22)	よりよく生きる喜び	人間として生きる喜び	人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きる喜びを見いだそうとする心情を育む。	<p>○バイオリン職人のフランクは、どんな思いで日々バイオリン作りに励んでいたのだろう。</p> <p>○著名なバイオリニストから「あなたの作ったバイオリンで演奏したい。」と言われたとき、フランクはどんなことを考えたろう。</p> <p>○納得のいくものができなかったフランクは、ロビンのバイオリンに自分のラベルを貼る。そのとき、どんな思いだったろう。</p> <p>◎ロビンの手紙を読み、フランクは涙を流しながら何を考えていたのだろう。</p> <p>○人間は失敗をすることがあるけれど、誇り高く生きていくにはどんなことが大切だろう。</p>	<p>□フランクの心情の変化を追いかけ、誰もがもつ人間の弱さや醜さに共感し、よりよく生きる喜びに関わった発言や記述が見られたか。</p> <p>◇フランクの心の変化に共感させ、人間の弱さや醜さを理解させるためのねらいに迫る適切な発問を示すことができたか。</p>	音楽

令和 5 年度中学部1年（I課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 / 配当時数	教科書 / 副教材等	担当者名
35	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

年間目標	(知及技) 学校・家庭・地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 (思判表力) 学校・家庭・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとも
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりすることができる。 (思判表力) 自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分なりの表現で伝えることができる。 (学・人)好きなことなどを見つけようとするすることができる。	(知・技) 自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりしようとしている。 (思・判・表)自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分なりの表現で伝えようとしている。 (主学)好きなことなどを見つけようとしている。	生徒の興味・関心に基づく課題 「キャリアパスポートの取組」	・オリエンテーション ・総合的な学習の時間の内容や目標の確認 ・自分の得意なこと、好きなこと、年間目標、1学期の振り返り
	5	(知及技) 交流学习を通じて多様な価値観や考え方に触れ、理解することができる。 (思判表力) 異年齢集団との関わり方を考え、自己の考えを表現することができる。 (学・人)積極的に他者と関わり合おうとすることができる。	(知・技) 交流学习を通じて多様な価値観や考え方に触れ、理解しようとしている。 (思・判・表) 異年齢集団との関わり方を考え、自己の考えを表現しようとしている。 (学・人)積極的に他者と関わり合おうとしている。	多様な価値観や異年齢集団の関わり方 「交流学习」	・事前事後学習 ・学校紹介 PP 作成 ・司会進行 ・振り返り ・お礼の手紙
	4	(知及技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思判表力) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 (学・人)教師の話や読み聞かせなどに関心を向け、平和について自分なりの考えを持つことができる。	(知・技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ろうとしている。 (思・判・表) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えようとしている。 (主学)教師の話や読み聞かせなどに関心を向け、平和について自分なりの考えを持つようとしている。	現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題 「平和学習」	・読み聞かせ ・パネル展示見学 ・歌 ・平和学習 ・平和について考えよう ・情報収集 (校外学習)
2 学期	3	(知及技) 実現可能な目標を立てることの目的を知ることができる。 (思判表力) 見通しを持って目標達成に向けて取り組むことができる。 (学・人)自分や友達の頑張った様子を、お互いに振り返ることができる。	(知・技) 実現可能な目標を立てることの目的を知ろうとしている。 (思・判・表)見通しを持って目標達成に向けて取り組もうとしている。 (主学)自分や友達の頑張った様子を、お互いに振り返ろうとしている。	生徒の興味・関心に基づく課題 「キャリアパスポートの取組」	・1学期の振り返り (課題と自己評価) ・2学期頑張りたいこと、2学期の振り返り
	6	(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージを持ち、学んだことを表現したりすることができる。 (学・人)就業・生活体験に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージを持つようしたり、学んだことを表現したりしようとしている。 (主学)就業・生活体験に意欲をもって取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「就業生活体験事前学習」 「就業生活体験」 「就業生活体験事後学習」	・就業生活体験の実施

	<p>(知及技) 過去、現在、未来の科学技術の進歩や社会生活の変化を理解し知識や技術を知ることができる。</p> <p>6 (思判表力) 科学技術の変化について ICT 機器等を活用し調べて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 他者が行う発表に、興味を持って聴き、質問することができる。</p>	<p>(知及技) 過去、現在、未来の科学技術の進歩や社会生活の変化を理解し知識や技術を知ろうとしている。</p> <p>(思判表力) 科学技術の変化について ICT 機器等を活用し調べて他者に伝えようとしている。</p> <p>(学・人) 他者が行う発表に、興味を持って聴き、質問しようとしている。</p>	<p>科学技術の進歩と社会生活の変化</p> <p>「身近な変化や今後の科学技術の進歩」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の進歩を調べる。 ・生活様式の変化を調べる。 ・今後の予想を自分なりに考える。 ・調べたことを PP にまとめ、発表を行う。 ・振り返り、質問 ・情報収集 (校外学習)
3 学	<p>(知及技) 1年間を通して、自分が立てた目標を達成できたか、振り返ることができる。</p> <p>2 (思判表力) 頑張ってきたことを自分の言葉で発表することができる。</p> <p>(学・人) 自分や友達の頑張った様子を、お互いに振り返ることができる。</p>	<p>(知・技) 1年間を通して、自分が立てた目標を達成できたか、振り返ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 頑張ってきたことを自分の言葉で発表しようとしている。</p> <p>(主学) 自分や友達の頑張った様子を、お互いに振り返ろうとしている。</p>	<p>生徒の興味・関心に基づく課題</p> <p>「キャリアパスポートの取組」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間を振り返り評価する、次年度の目標を設定する
学 期	<p>(知及技) 年間を通して、学んだ内容を整理し内容を振り返ることができる。</p> <p>6 (思判表力) 学んだ内容を PP で作成し、自分の考えを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 自分や友達の発表を聞き、質問したりして振り返ることができる。</p>	<p>(知及技) 年間を通して、学んだ内容を整理し内容を振り返ろうとしている。</p> <p>(思判表力) 学んだ内容を PP で作成し、自分の考えを他者に伝えようとしている。</p> <p>(学・人) 自分や友達の発表を聞き、質問したりして振り返ろうとしている。</p>	<p>自己の在り方・生き方や進路に関わる課題</p> <p>「年間で学んだ内容を整理し発表しよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表準備 ・PP 作成 ・発表会 ・振り返り ・まとめ ・情報収集 (校外学習)
留意点				

令和5年度 中学部1年（I課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	iPad、パソコン、電子黒板等	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能
(思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 (思判表力)交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共に共に行ったりする集団活動を通して生徒の経験を広め、自己実現や社会参画のための課題を見だし、解決に向かって取り組むことができる。 (学・人)人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげることができる。 ②教師と協力して、落ち着いて測定を受けられることができる。 ③学級や学部、生徒会の一員として集団に参加することができる。 ④事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 ⑤夏休みの過ごし方、規則正しい生活について考えることができる。	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 ②教師と協力して、落ち着いて測定を受けようとしている。 ③学級や学部、生徒会の一員として集団に参加しようとしている。 ④事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 ⑤夏休みの過ごし方、規則正しい生活について考えようとしている。	①1学期始業式 ①入学式 ②身体測定 ③遠足・校外学習 ③新入生歓迎会 ③児童生徒総会 ④火災避難訓練 ⑤夏休みの過ごし方 ①1学期終業式	①儀式のマナー（聞く態度、姿勢等） ②身体測定 ③学級や学部、生徒会の活動を通して、集団の一員であることを把握する。 ④避難の事前事後学習と実践 ⑤生活習慣の確認や見直し
2学期	13	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげることができる。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加することができる。 ③事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 ④互いに協力をしながら、式や競技に参加することができる。 ⑤冬休みの過ごし方、規則正しい生活について考えることができる。	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加しようとしている。 ③事件や事故、災害等から身を守ることの大切さを理解し、必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 ④互いに協力をしながら、式や競技に参加することができる。 ⑤冬休みの過ごし方、規則正しい生活について考えようとしている。	①2学期始業式 ②児童生徒会 ②校外学習 ③地震津波避難訓練 ④運動会 ⑤冬休みの過ごし方 ①2学期終業式	①儀式のマナー（聞く態度、姿勢等） ②身体測定 ③学級や学部、生徒会の活動を通して、集団の一員であることを把握する。 ④避難の事前事後学習と実践 ⑤生活習慣の確認や見直し
3学期	10	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげることができる。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加することができる。 ③個人目標がどれだけ達成できたか振り返り、次の目標へつなげることができる。	①厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 ②学級や学部、生徒会の一員として集団に参加しようとしている。 ③個人目標がどれだけ達成できたか振り返り、次の目標へつなげようとしている。	①3学期始業式 ②児童生徒会役員選挙 ②児童生徒会役員認証式 ②卒業生を送る会 ③一年間の振り返り ①卒業式 ①修了式 ①離任式	①儀式のマナー（聞く態度、姿勢等） ②学級や学部、生徒会の活動を通して、集団の一員であることを把握する。 ③学級や学部での発表、儀式での挨拶など

留意点引継ぎ 等	
-------------	--